



青森県の畜産

平成24年3月



目次

第1章 農業の概要

- 1) 自然と気象..... 1
- 2) 本県農業の地位..... 2
- 3) 農業産出額..... 4

第2章 畜産の概要

- 1) 畜産産出額..... 5
- 2) 主要家畜の頭羽数..... 5

第3章 家畜飼養動向

- 1) 乳用牛..... 6
- 2) 肉用牛..... 8
- 3) 豚..... 10
- 4) 採卵鶏..... 12
- 5) プロイラー..... 13
- 6) その他..... 14

第4章 畜産物の流通と価格

- 1) 牛乳..... 15
- 2) 肉用牛..... 17
- 3) 豚..... 19
- 4) 鶏卵..... 21
- 5) プロイラー..... 23
- 6) 畜産物支出金額、購入数量...24

第5章 畜産物の生産費と収益性

- 1) 牛乳..... 25
- 2) 肉用牛..... 26
- 3) 豚..... 28

第6章 草地と飼料

- 1) 自給飼料の状況.....29
- 2) 草地開発面積.....30
- 3) 配合飼料の状況.....31

第7章 家畜衛生

- 1) 家畜防疫事業の推移.....32
- 2) 監視伝染病発生状況.....33

第8章 環境保全

- 環境汚染発生状況.....34

第9章 参考資料

- 1) 青森県酪農・肉用牛生産
近代化計画の目標.....35
- 2) 畜産行政組織の概要.....36
- 3) 試験研究機関.....37
- 4) 行政区域・各機関所在地.....37
- 5) 畜産関係機関・団体.....38
- 6) 畜産関係施設.....39
- 7) 県内の特徴的な動き.....40
- 8) 県基幹種雄牛.....42

第1章 農業の概要

1) 自然と気象

[位置]

本県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相對し、東は太平洋、西は日本海に囲まれ、南は秋田・岩手両県に接している。

青森市から東京までは、国道4号では約740km、鉄道距離（東北新幹線）は約720kmで、時間距離は鉄道では最短3時間10分、自動車では東北縦貫自動車道を利用すると約8時間、飛行機では約1時間10分となっている。

[面積]

本県の面積は、全国第8位の9,645平方キロメートルで、全国の約3%を占めているが、人口密度は全国44位となっており、1人あたりの面積が広く、豊かな自然に恵まれている。

[地形]

地勢は中央の奥羽山脈を境として、日本海側に接する津軽地方では、広大な沖積平野と出羽山脈の延長にある山地が形成され、山地によって囲まれた岩木川流域には肥沃な津軽平野、奥羽山脈に北端には青森市を中心とした青森平野が広がっている。

一方、太平洋側の県南地方では、火山灰土に覆われた大地や段丘が広く分布し、下北半島の首部から十和田市・八戸市に及ぶ地域には丘陵地が形成されている。

[気象]

本州最北端にあることから、冷涼型の気候で四季がはっきりしている。

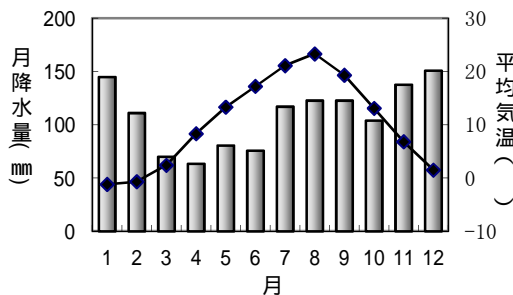
夏期は、津軽地方は比較的気温が高く気象に恵まれているが、県南地方では北太平洋に発達する高気圧により、春の終わりから夏にかけてヤマセ（偏東風）が吹き、低温の日が多い。

冬季は大陸高気圧の影響により、西ないし北西の季節風が多くなり、津軽地方では多雪となるが、県南地方は冷え込みが激しく、晴天の日が多く雪も少ない。

月平均気温と月平均降水量の関係(1981～2010年、資料：気象庁気象統計情報)

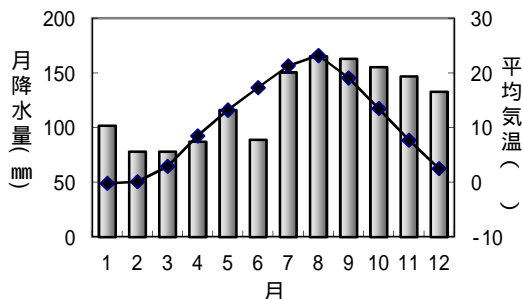
青森

緯度：北緯 40° 49'
 経度：東経140° 46'



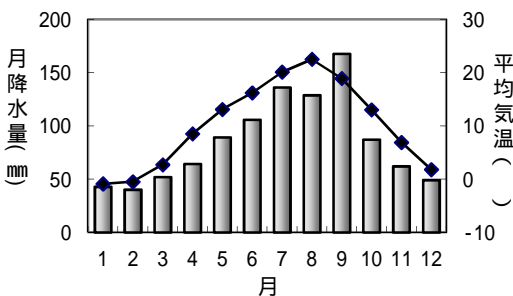
深浦

緯度：北緯 40° 38'
 経度：東経139° 55'



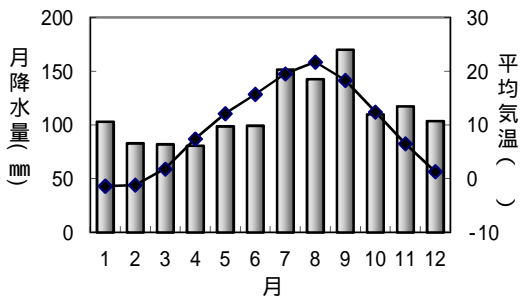
八戸

緯度：北緯 40° 31'
 経度：東経141° 31'



むつ

緯度：北緯 41° 17'
 経度：東経141° 12'

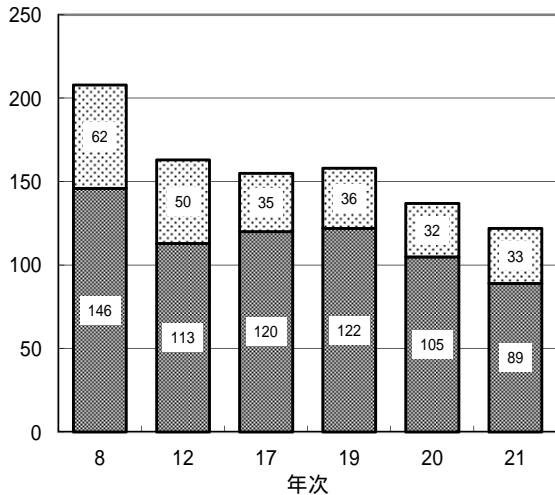


2) 本県農業の地位

県内純生産に占める第1次産業の割合(21年)は3.7%、全産業の就業人口に占める第1次産業の割合(20年)は13.4%と、それぞれ全国平均に比べ高い水準となっている。

また、平成17年の産業連関表からみると、県全体の総移輸出額に占める第1次産業の割合は9.7%、農水産物の供給先である製造業(食料品)が13.4%で、第1次産業生産が県経済に及ぼす影響は大きく、農林水産業は本県の基幹産業として位置づけられる。

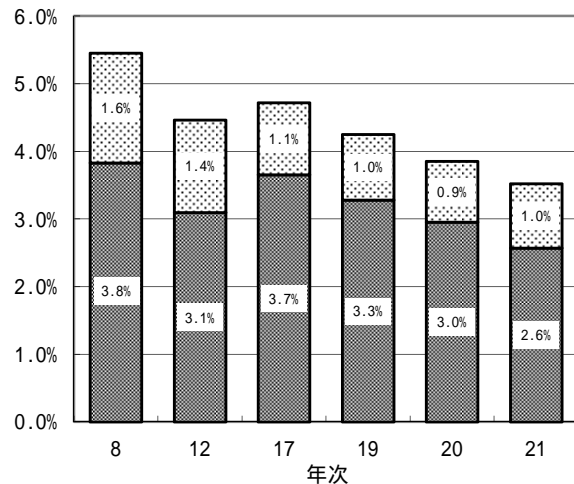
農林水産業純生産額(単位:十億円)



■ 林業・水産業 ■ 農業

帰属利子分を含む

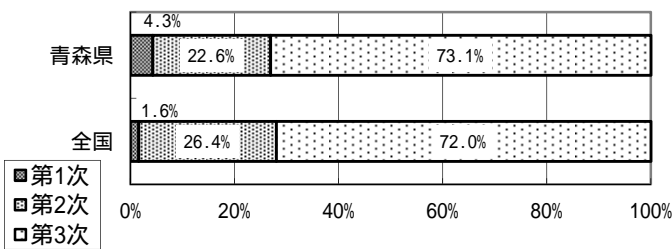
県内純生産に占める農林水産業の割合



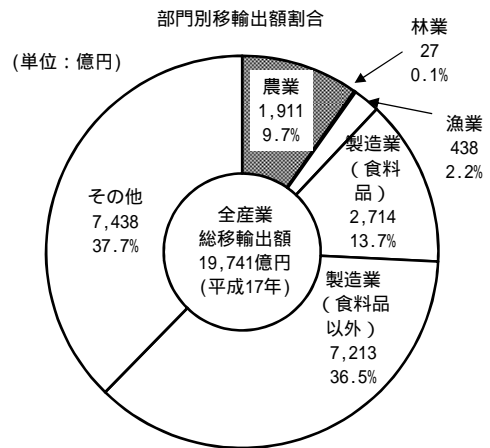
■ 林業・水産業 ■ 農業

資料: 青森県県民経済計算

産業別純生産構成比(20年)



資料: 青森県県民経済計算、国民経済計算年報



資料: 平成17年青森県産業連関表

就業人口に占める第1次産業就業人口の割合(20年)



資料: 青森県県民経済計算、国民経済計算年報

主要指標

区分	単位	年次	青森県	東北	全国	青森 /東北	青森 /全国	東北 順位	全国 順位
総農家数	戸	22	54,210	406,266	2,527,948	13.3	2.1	5	21
販売農家数	"	"	43,314	304,975	1,631,206	14.2	2.7	5	17
専業別	専業農家数	"	13,188	63,046	451,427	20.9	2.9	1	9
	一種兼業農家	"	10,278	50,624	224,610	20.3	4.6	1	3
	二種兼業農家	"	19,848	191,305	955,169	10.4	2.1	6	22
主副業別	主業農家	"	16,264	69,632	359,720	23.4	4.5	1	3
	準主業農家	"	9,916	92,794	388,883	10.7	2.5	6	14
	副業的農家	"	17,134	142,549	882,603	12.0	1.9	5	26
農業就業人口	"	"	80,483	486,533	2,605,736	16.5	3.1	3	9
基幹的農業従事者	"	"	68,609	359,636	2,051,437	19.1	3.3	2	8
耕地面積	ha	"	156,800	870,700	4,593,000	18.0	3.4	1	4
田	"	"	83,600	622,600	2,496,000	13.4	3.3	6	10
畑	"	"	73,300	248,100	2,097,000	29.5	3.5	1	4
耕地利用率	%	21	84.9	85.7	92.1			4	35
水稲収穫量	t	22	285,500	2,339,000	8,483,000	12.2	3.4	6	11
りんご収穫量	"	21	457,300	650,790	845,600	70.3	54.1	1	1
乳用牛飼養頭数	頭	23	13,500	120,300	1,467,000	11.2	0.9	4	19
肉用牛飼養頭数	"	"	58,900	394,000	2,763,000	14.9	2.1	4	14
野菜栽培延べ面積	ha	21	18,500	72,000	551,800	25.7	3.4	1	6
農業産出額	億円	22	2,751	12,526	82,551	22.0	3.3	1	8
主要作物	米	"	410	3,807	15,722	10.8	2.6	6	11
	野菜	"	643	2,331	22,485	27.6	2.9	1	13
	果実	"	746	1,736	7,497	43.0	10.0	1	1
	うちりんご	"	710					1	1
	畜産	"	818	3,964	26,475	20.6	3.1	2	10
生産農業所得	"	20	915	4,492	28,064	20.4	3.3	1	9
農家総所得	"	21	3,600	3,849	4,566	93.5	78.8	4	
農家所得	"	"	2,346	2,469	2,733	95.0	85.8	4	
農業所得	"	"	1,081	900	1,042	120.1	103.7	1	
農業生産関連事業所得	"	"	2	1	6				
農外所得	"	"	1,263	1,568	1,685	80.5	75.0	3	
農業依存度 /	%	"	46.1	36.5	38.1	126.4	120.9	3	

資料：青森農林水産統計年報、農作物統計、園芸作物統計、生産農業所得統計、青森県の農業経済、農業構造動態調査報告書、青森統計・情報センター調査

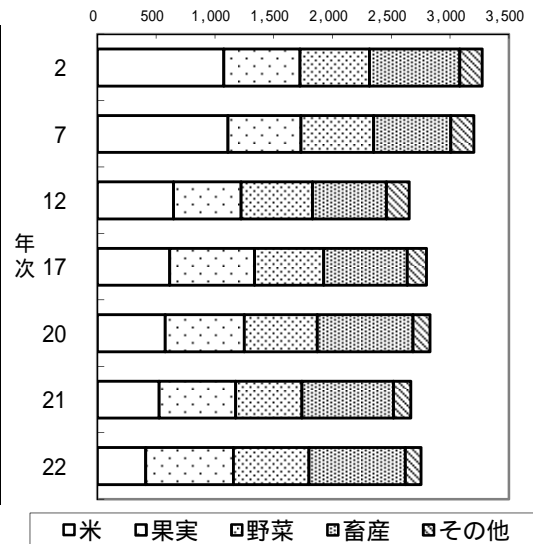
3) 農業産出額

農業産出額とは

年内に生産された農産物総量（自家消費分も含む）から、種子及び飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の販売価格（農家受取価格）を乗じて産出したものである。

青森県農業産出額 (単位：億円)

年	合計	米	果実	野菜	畜産	その他
2	3,270	1,074	647	593	766	190
7	3,200	1,109	621	619	656	195
12	2,649	647	573	608	628	193
17	2,797	613	722	589	710	163
20	2,828	576	671	623	813	145
21	2,664	523	652	563	778	148
22	2,751	410	746	643	818	134

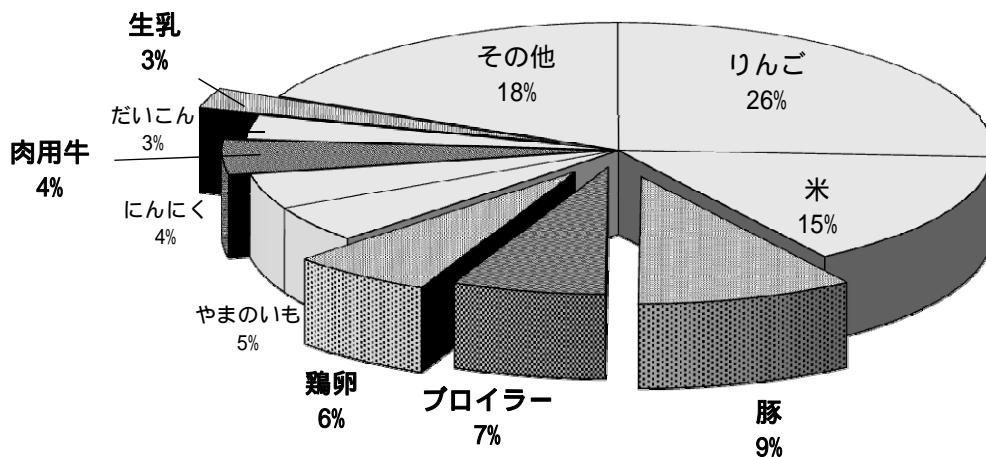


資料：生産農業所得統計

県内産出額上位10品目 (22年) (単位：億円)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	りんご	米	豚	プロイラー	鶏卵	やまのいも	にんにく	肉用牛	だいこん	生乳
産出額	710	410	258	182	169	129	124	120	83	69

資料：生産農業所得統計



第2章 畜産の概要

1) 畜産産出額

平成22年の畜産産出額は818億円（対前年比5.1%増）となっており、畜種別では鶏357億円（対前年比5%増）、豚258億円（対前年比7.9%増）、肉用牛120億円（対前年比3.4%増）、乳用牛72億円（対前年比同額）となっている。

（単位：億円）

年次	合計	乳用牛		肉用牛	豚	鶏	鶏		その他
		生乳					鶏卵	ブロイラー	
2	586	107	80	52	186	220	174	-	24
7	623	105	85	67	194	239	156	-	19
2	766	103	83	97	255	283	142	-	28
7	649	97	78	72	216	257	131	-	6
12	627	78	71	75	185	282	137	-	8
17	710	73	68	81	223	324	147	153	10
20	813	66	64	93	254	388	158	226	11
21	778	72	69	116	239	340	155	180	11
22	818	72	69	120	258	357	169	182	12

平成12年以前は、ブロイラーの産出額の調査は行っていない。

資料：農林水産統計

2) 主要家畜の頭羽数

(1) 飼養戸数、頭羽数（平成23年2月1日現在）

（単位：戸・頭・千羽）

飼養戸数	乳用牛			飼養戸数	肉用牛			飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	採卵鶏	
	飼養頭数				飼養頭数						飼養羽数	
	合計	2歳以上	2歳未満		合計	肉用種	乳用種				合計	成鶏めす
269	13,500	9,470	4,010	1,220	58,900	27,200	31,700	134	395,800	30	6,165	4,650

資料：畜産統計

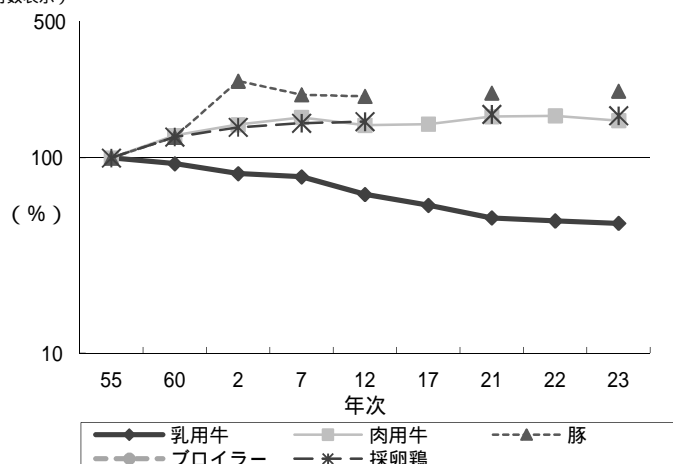
(2) 家畜飼養頭羽数の対昭和55年比の推移

現在の家畜飼養頭羽数を昭和55年と比較してみると、豚（220%）、採卵鶏（165%）、肉用牛（155%）は伸びており、乳用牛（46%）は減少している。

（単位：パーセント）（対数表示）

年次	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏
55	100	100	100	100
60	93	130	128	128
2	83	148	248	144
7	80	161	211	151
12	65	147	207	154
17	57	149		
21	49	163	215	167
22	48	165		
23	46	155	220	165

平成17年、22年は農業センサス実施年のため一部調査中止。



資料：畜産統計・食鳥流通統計

第3章 家畜飼養動向

1) 乳用牛

飼養戸数及び飼養頭数

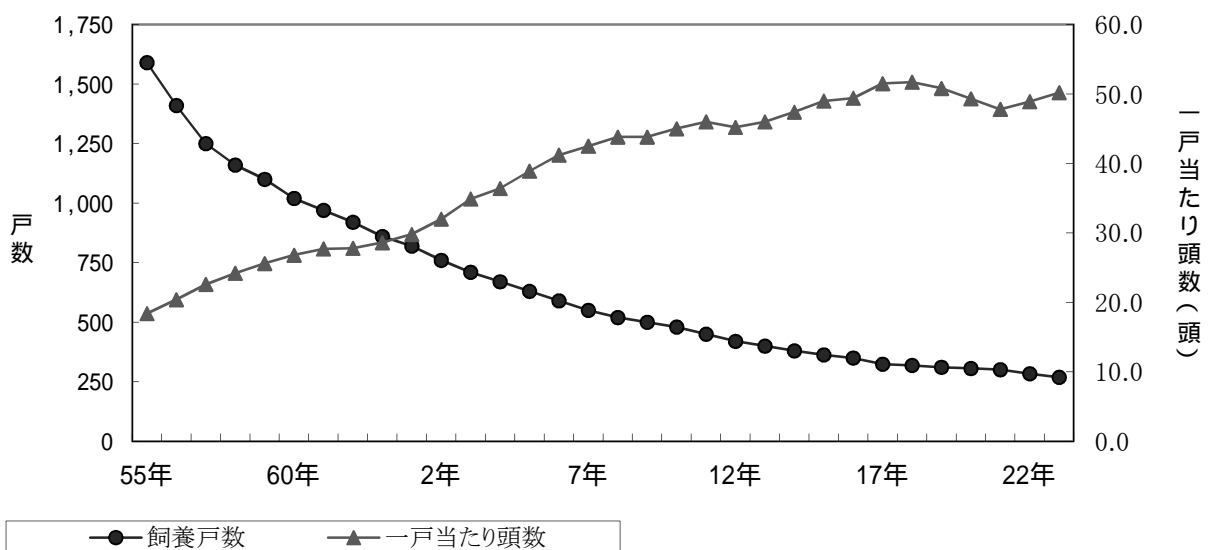
飼養戸数は年々減少し、平成23年は269戸となった。飼養頭数も減少傾向にあり、平成23年は対前年比2.9%減の13,500頭となった。

(単位:戸、頭)

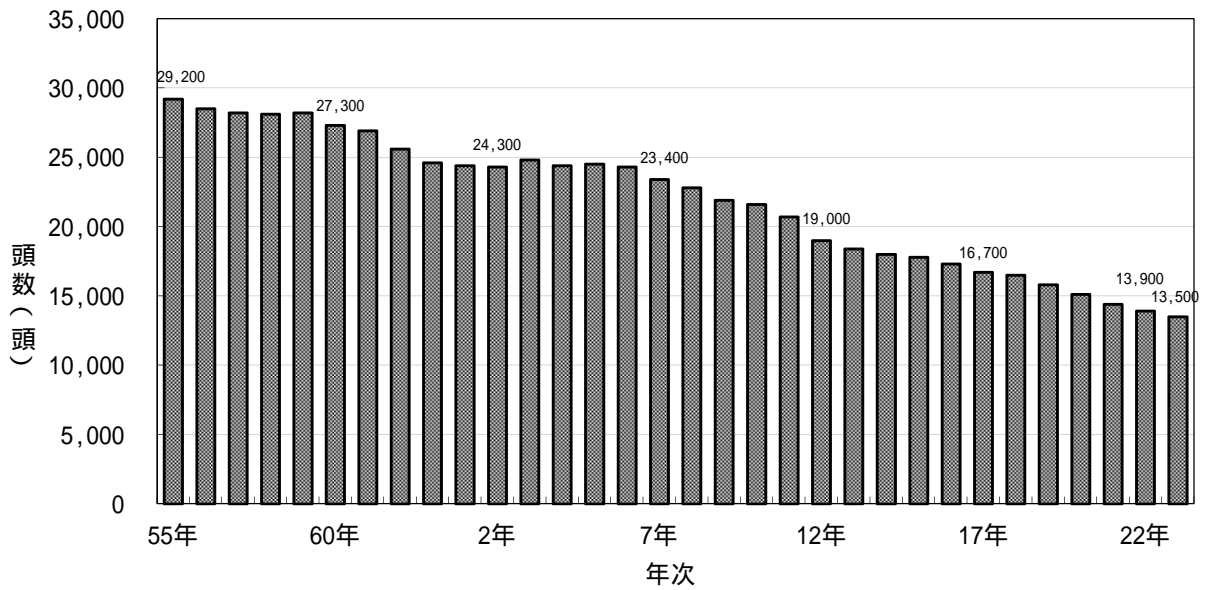
区分	飼養戸数	飼養頭数(めす)								一戸当たり頭数
		合計	2歳以上						2歳未満	
			計	経産牛			未經産牛			
				小計	搾乳牛	乾乳牛				
青森県	昭55.2.1	1,590	29,200	21,100	18,300	14,820	3,480	2,810	8,090	18.4
	60.2.1	1,020	27,300	19,510	17,200	14,000	3,200	2,310	7,820	26.8
	平 2.2.1	760	24,300	16,300	15,200	12,900	2,250	1,120	8,040	32.0
	7.2.1	550	23,400	16,200	14,700	12,600	2,060	1,490	7,210	42.5
	12.2.1	420	19,000	13,900	12,700	11,000	1,700	1,200	5,170	45.2
	17.2.1	324	16,700	11,500	10,500	8,970	1,540	940	5,250	51.5
21.2.1	青森	301	14,400	10,400	10,100	8,750	1,360	250	4,000	47.8
	全国	23,100	1,500,000	1,055,000	985,200	848,000	137,200	69,600	445,100	64.9
22.2.1	青森	284	13,900	9,920	9,690	8,390	1,300	230	3,940	48.9
	全国	21,900	1,484,000	1,029,000	963,800	829,700	134,100	65,600	454,900	67.8
23.2.1	青森	269	13,500	9,470	9,210	7,940	1,260	260	4,010	50.2
	全国	21,000	1,467,000	999,600	932,900	804,700	128,200	66,700	467,800	69.9

資料：畜産統計

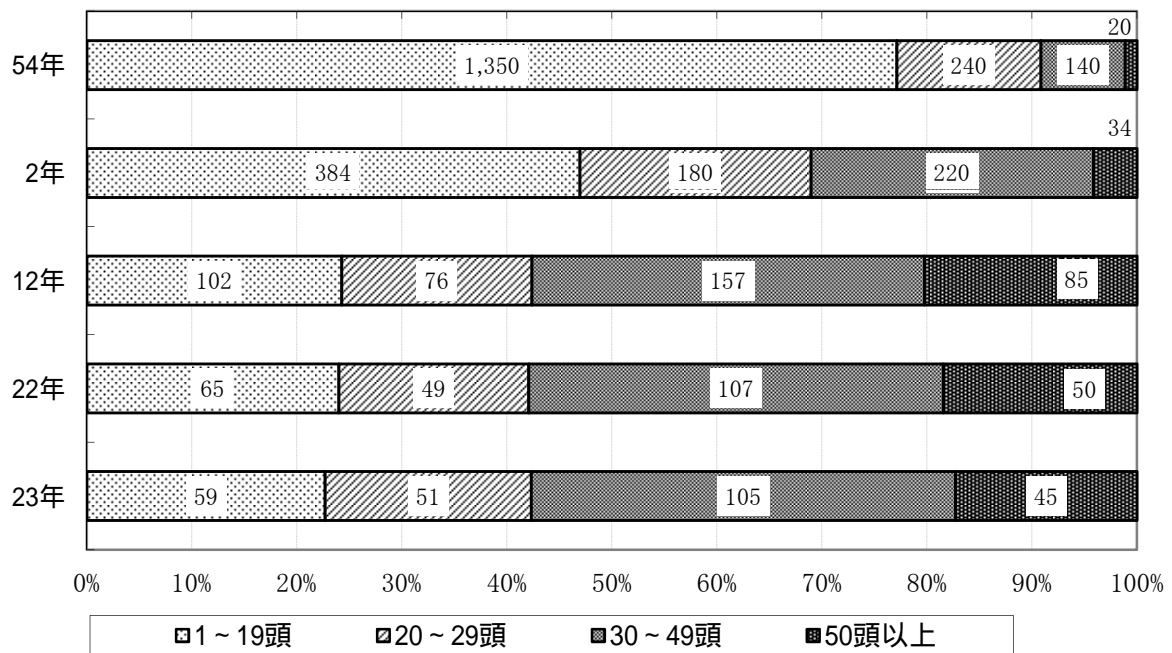
飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



飼養頭数の推移



頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



資料：畜産統計

2) 肉用牛

飼養戸数及び飼養頭数

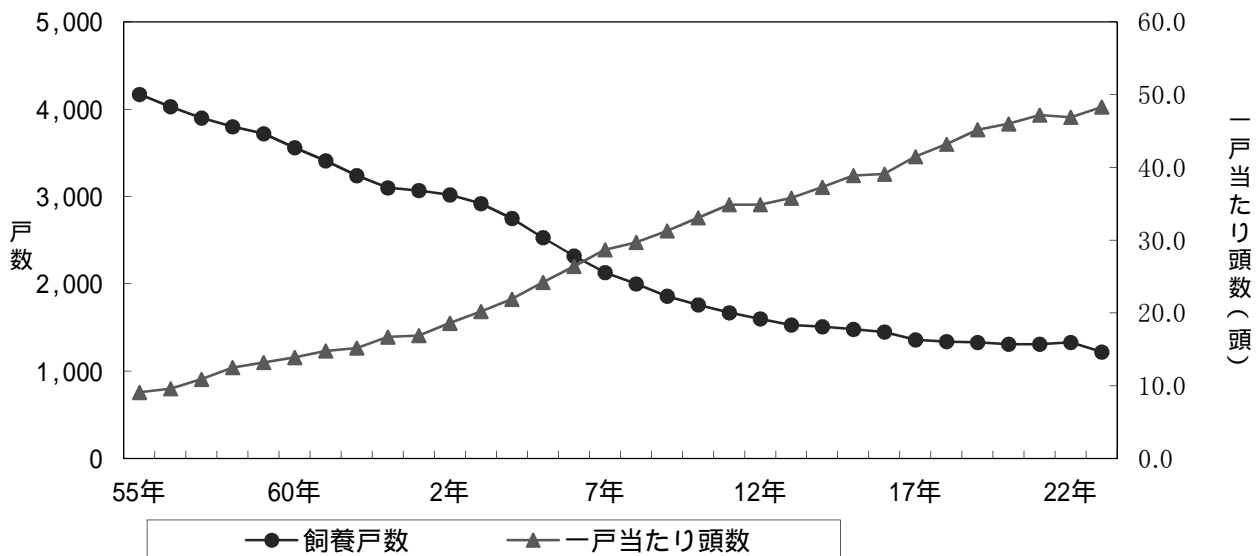
平成23年の肉用牛の飼養戸数はかなりの程度減少し、1,220戸となった。飼養頭数はここ数年は増加傾向にあったが、平成23年は減少に転じ、対前年比5.6%減の58,900頭となった。

(単位:戸、頭)

区分	飼養戸数	飼養頭数				一戸当たり頭数		
		計	肉用種めす	肉用種おす	乳用種			
青森県	昭55.2.1	4,170	37,910	4,930		8,740	10,430	9.1
	60.2.1	3,560	49,400	5,800		9,460	19,500	13.9
	平 2.2.1	3,020	56,200	17,600		8,520	30,100	18.6
	7.2.1	2,130	61,200	17,800		13,700	29,600	28.7
	12.2.1	1,600	55,800	16,700	10,900	9,700	29,400	34.9
	17.2.1	1,360	56,500	16,200	10,400	9,110	31,200	41.5
21.2.1	青森	1,310	61,800	19,400	13,700	9,590	32,800	47.2
	全国	77,300	2,923,000	1,215,000	682,100	674,200	1,033,000	37.8
22.2.1	青森	1,330	62,400	19,500	14,200	9,250	33,600	46.9
	全国	74,400	2,892,000	1,234,000	683,900	689,600	968,300	38.9
23.2.1	青森	1,220	58,900	18,600	13,700	8,600	31,700	48.3
	全国	69,600	2,763,000	1,205,000	667,900	662,600	894,800	39.7

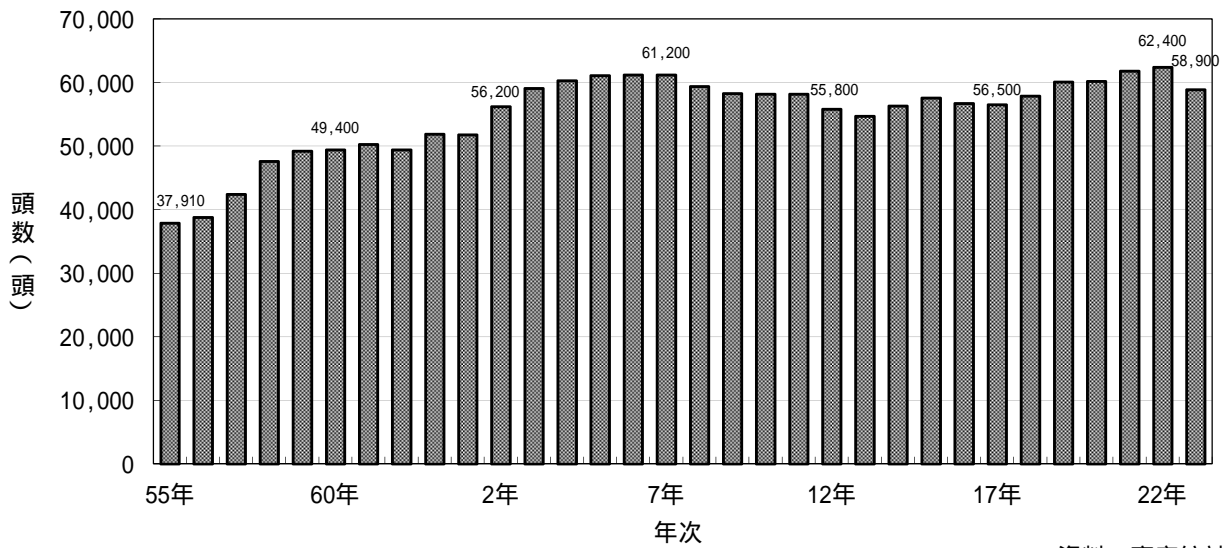
資料：畜産統計・畜産基本調査

飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



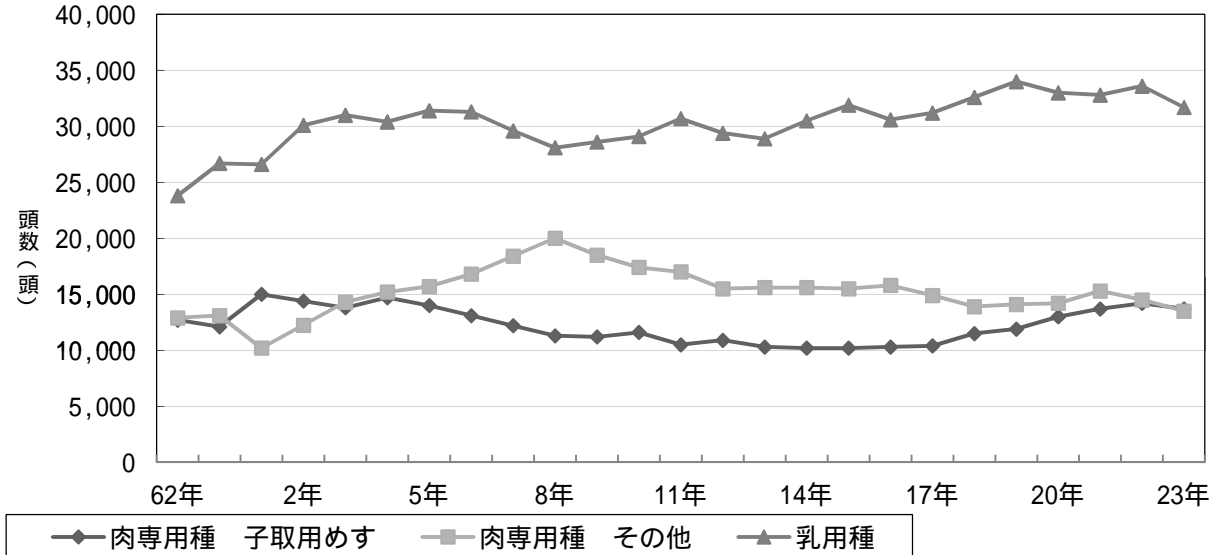
資料：畜産統計

飼養頭数の推移



資料：畜産統計

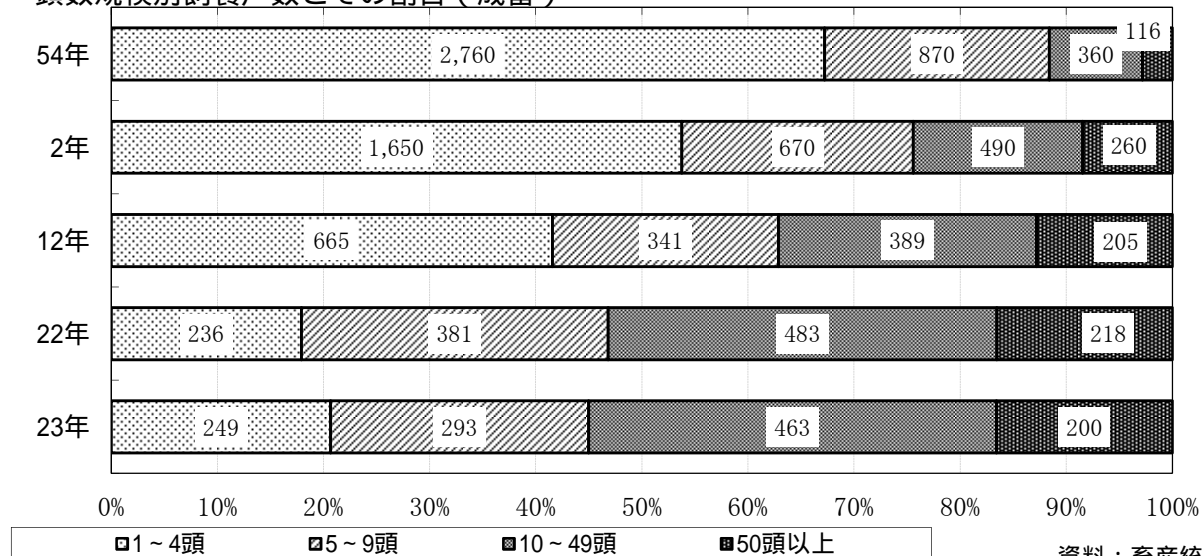
品種別飼養頭数の推移



(平成2年次、7年次はセンサス年で一部調査を中止しているため、前後年の中間値を用いた)

資料：畜産統計

頭数規模別飼養戸数とその割合(成畜)



資料：畜産統計

3) 豚

飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は、ここ数年減少を続け、平成23年は134戸となった。飼養頭数は、ほぼ横ばいで推移しており、平成23年は前回に比べ2.4%増の395,800頭となった。一戸あたりの飼養頭数は年々増加しており、平成23年は2,953.7頭となった。

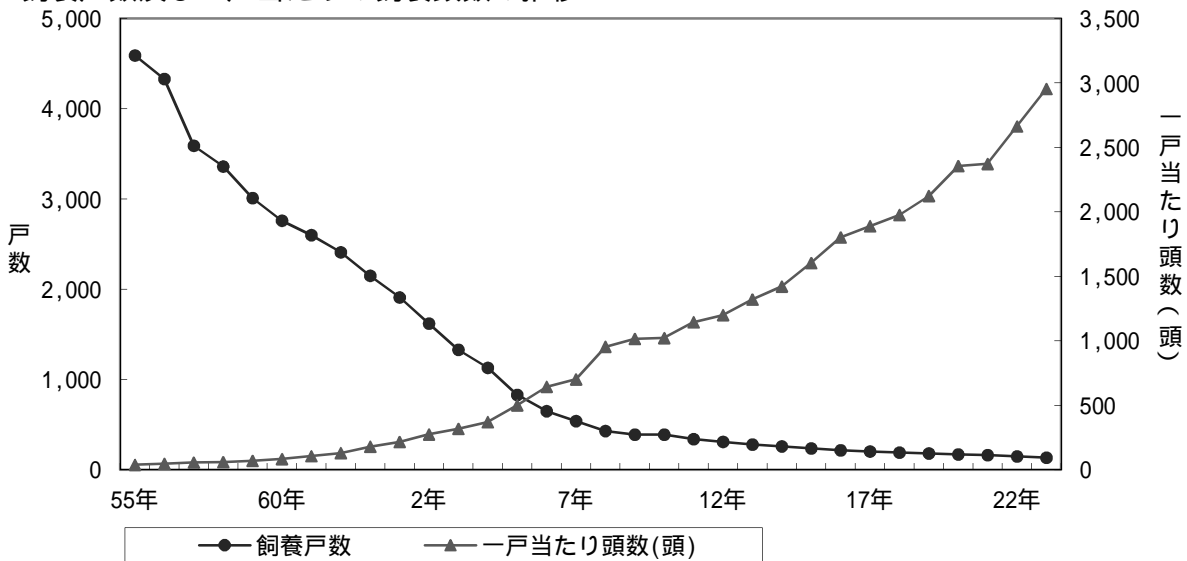
(単位:戸、頭)

区分	飼養戸数		飼養頭数		一戸当たり頭数	
		子取り用めす豚		子取り用めす豚		
青森県	昭55.2.1	4,590	3,610	179,610	23,760	39.1
	60.2.1	2,760	2,540	229,600	29,800	83.2
	平 2.2.1	1,620	1,240	445,100	43,500	274.8
	7.2.1	540	480	378,700	39,600	545.2
	12.2.1	310	290	372,000	36,200	1,200.0
	16.2.1	216	190	389,300	35,600	1,802.3
20.2.1	青森	171	153	402,800	35,600	2,355.6
	全国	7,230	6,250	9,745,000	910,100	1,347.9
21.2.1	青森	163	142	386,600	34,000	2,371.8
	全国	6,890	5,950	9,899,000	936,700	1,436.7
23.2.1	青森	134	106	395,800	30,800	2,953.7
	全国	6,010	5,110	9,768,000	901,800	1,625.3

平成17年、22年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料：畜産統計

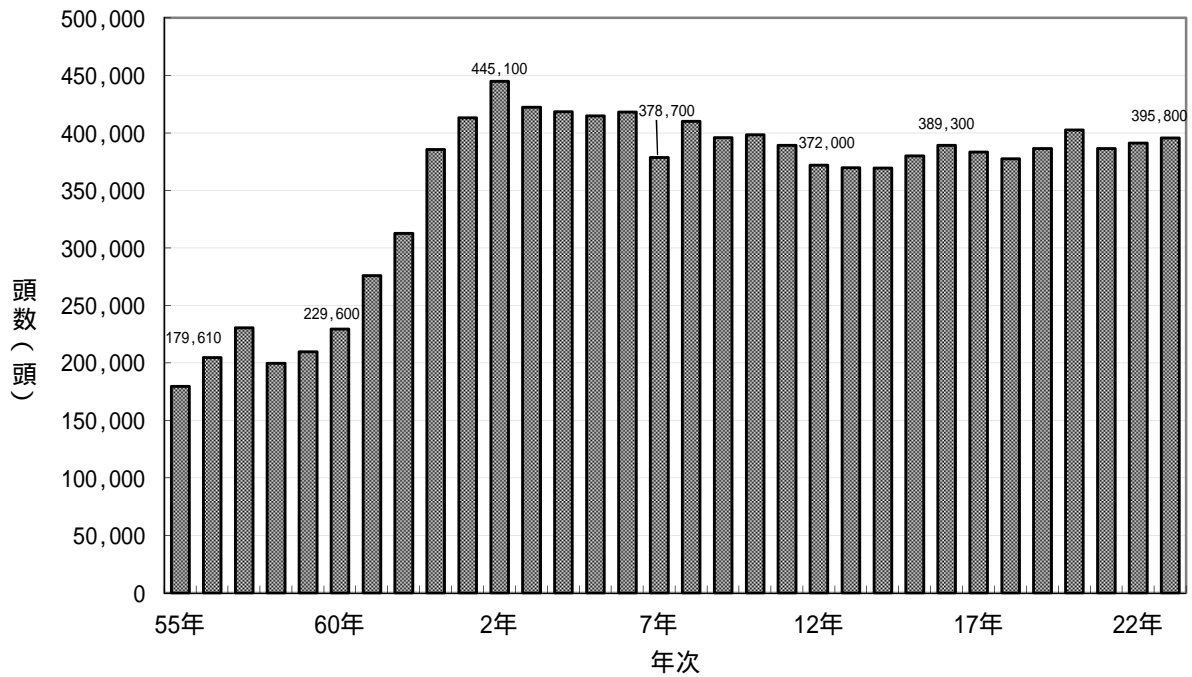
飼養戸数及び一戸あたりの飼養頭数の推移



(調査を実施していない17年、22年次は前後年の中間値を用いた)

資料：畜産統計

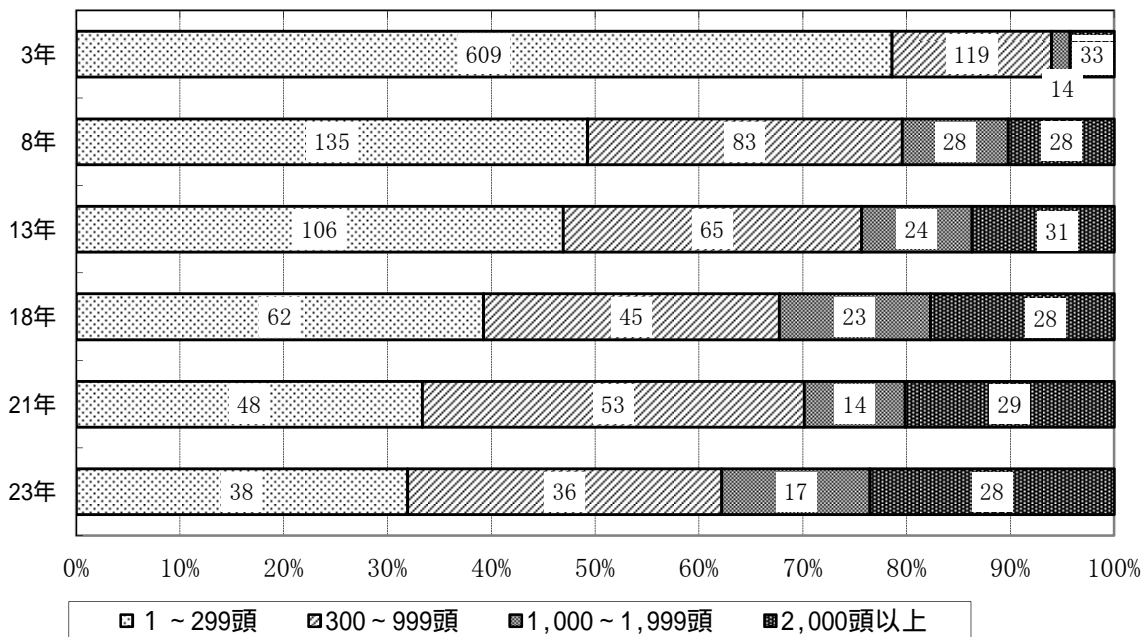
飼養頭数の推移



(調査を実施していない17年、22年次は前後年次の間接値を用いた)

資料：畜産統計

頭数規模別飼養戸数とその割合 (肥育豚)



資料：畜産統計

4) 採卵鶏

飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数は、ここ数年横ばいであり、平成23年は30戸であった。

飼養羽数は、平成23年は前年に比べ1.6%減の6,165千羽となった。一戸あたりの飼養羽数は全国平均の約3.3倍にあたる155,000羽と全国一の規模となっている。

(単位:戸、千羽)

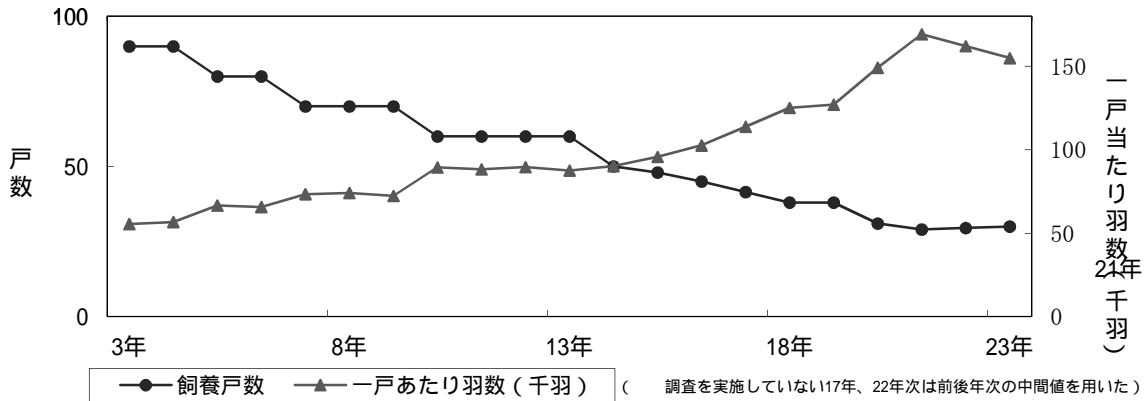
区分	飼養戸数	飼養羽数(採卵鶏)			一戸あたり 成鶏めす羽数 (種鶏除く)	
		計	成鶏めす	ひな		
青森県	昭55.2.1	770	3,743	3,324	419	4.4
	60.2.1	890	4,798	3,545	1,253	4.0
	平 2.2.1	590	5,376	4,066	1,310	6.9
	7.2.1	60	5,641	4,402	1,239	73.4
	12.2.1	50	5,747	4,479	1,268	89.6
	16.2.1	45	5,711	4,617	1,094	102.6
20.2.1	青森	31	5,884	4,624	1,260	149.2
	全国	3,300	181,664	142,523	39,141	43.2
21.2.1	青森	29	6,267	4,910	1,357	169.3
	全国	3,110	178,208	139,910	38,298	45.0
23.2.1	青森	30	6,165	4,650	1,515	155.0
	全国	2,930	175,917	137,352	38,565	46.9

平成17年、22年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料：畜産統計

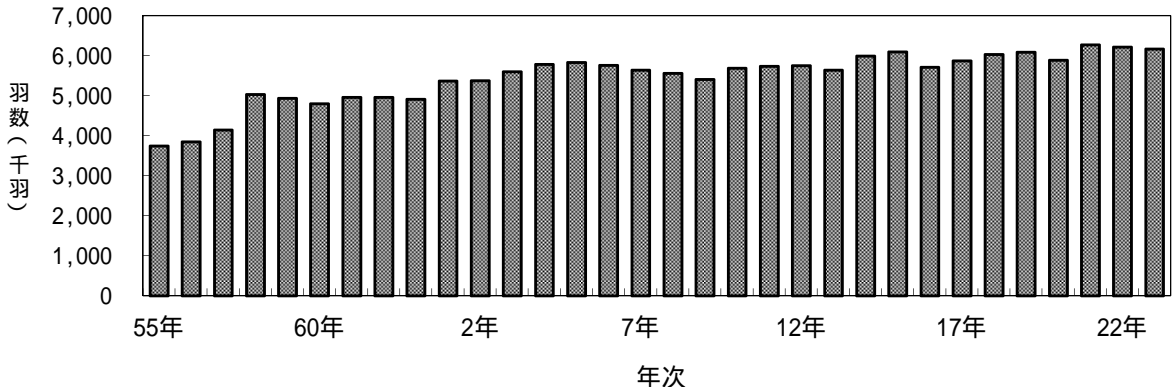
飼養対象は、平成2年まで成鶏300羽未満を含み、平成3年から成鶏300羽以上、平成10年から成鶏1,000羽以上。

飼養戸数及び一戸あたりの飼養羽数の推移

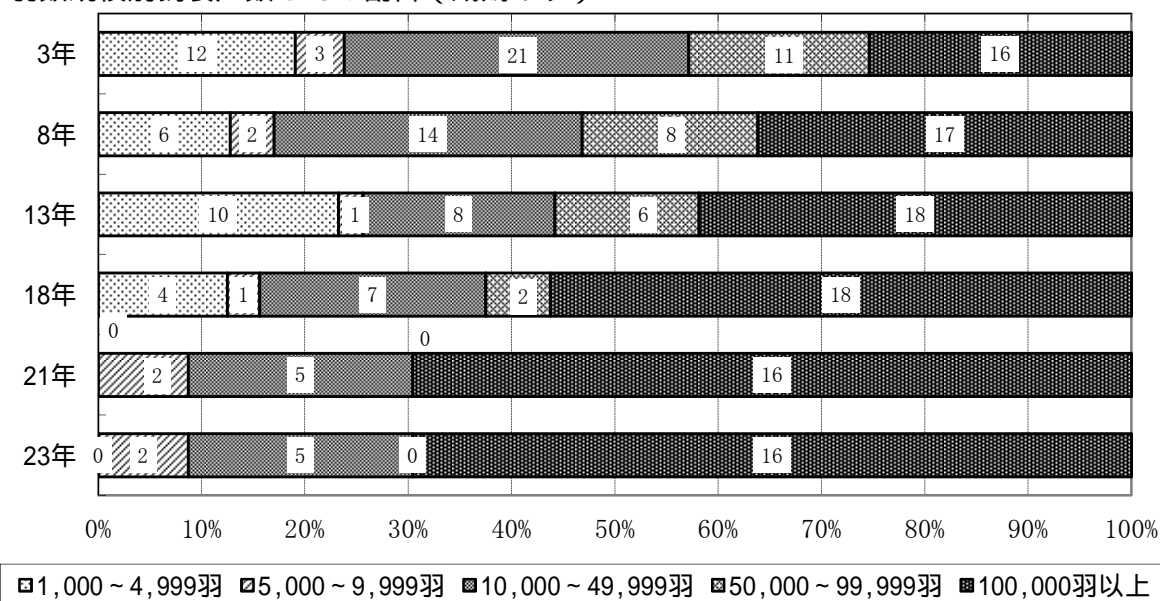


資料：畜産統計

飼養羽数の推移



羽数規模別飼養戸数とその割合（成鶏めす）



資料：畜産統計

5) ブロイラー

飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数はここ数年50～60戸で推移しており、平成21年は対前年比5戸増の58戸であった。
 飼養羽数は、平成21年は前年に比べ7.1%増の6,105千羽となった。一戸あたりの飼養羽数は全国平均の2.4倍にあたる105,300羽となっている。

（単位：戸、千羽）

区分	昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年	
青森県	飼養戸数	39	43	46	46	48	53	56	53	58
	飼養羽数	1,056	2,119	3,777	4,295	4,517	5,060	5,861	5,699	6,105
	一戸当たり羽数	27.1	49.3	82.1	93.4	94.1	95.5	104.7	107.5	105.3
全国	飼養戸数	-	7,025	5,529	3,853	3,084	2,654	2,583	2,456	2,392
	飼養羽数	-	150,215	150,445	119,682	108,786	102,520	105,287	102,987	107,141
	一戸当たり羽数	-	21.4	27.2	31.1	35.3	38.6	40.8	41.9	44.8

平成21年で飼養戸数・羽数の調査廃止。

資料：食鳥流通統計

6) その他

(1) 馬

軽種馬

(単位:戸、頭)

区分	55年	60年	2年	7年	12年	17年	21年	22年	23年
飼養戸数	272	199	165	146	102	73	55	53	51
飼養頭数	2,212	2,155	1,872	1,740	1,006	830	456	438	416

資料: 県畜産課調査

軽種馬以外

(単位:戸、頭)

区分	55年	60年	2年	7年	12年	17年	21年	22年	23年
飼養戸数	359	435	280	320	277	228	141	136	142
飼養頭数	683	1,108	881	1,751	1,522	1,580	1,275	1,436	1,536

資料: 県畜産課調査

(2) めん羊

(単位:頭)

区分	55年	60年	2年	6年	12年	17年	20年	21年	22年
飼養頭数	463	1,530	610	430	165	132	94	81	65

21年以降は明け2才以上雌の頭数。

資料: 家畜改良関係資料(6年以前は畜産統計)

(3) 山羊

(単位:頭)

区分	55年	60年	2年	6年	12年	17年	20年	21年	22年
飼養頭数	391	180	110	80	85	73	46	27	89

21年以降は明け2才以上雌の頭数。

資料: 家畜改良関係資料(6年以前は畜産統計)

(4) みつばち

(単位:戸、群)

区分	55年	60年	2年	7年	12年	17年	21年	22年	23年
飼養戸数	169	160	118	96	92	75	82	76	92
飼養群数	7,779	7,610	5,553	5,160	5,630	6,065	6,906	5,677	7,137

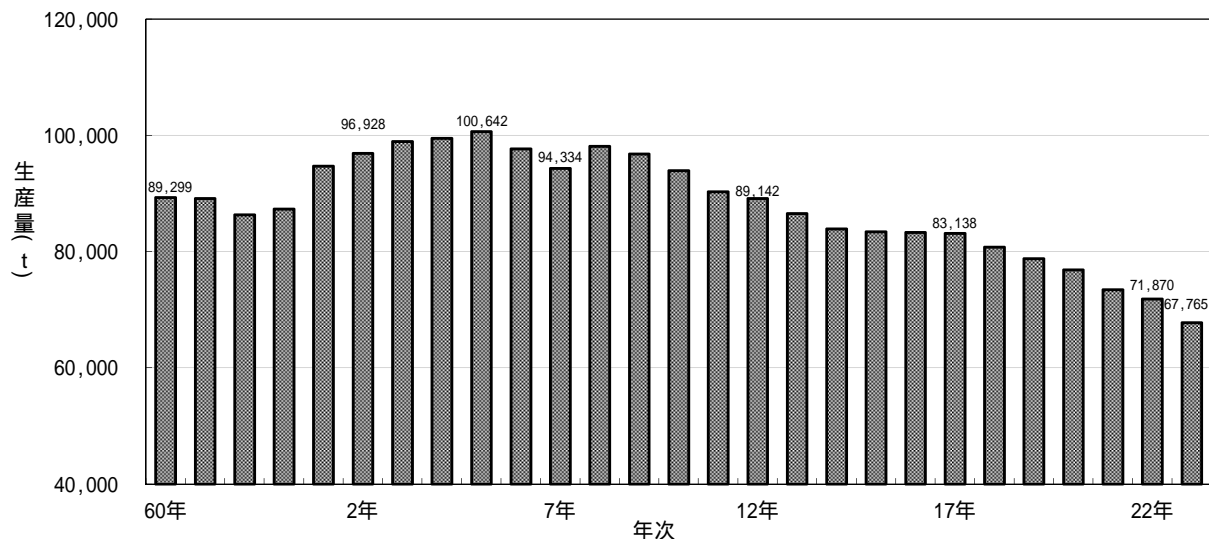
資料: 県畜産課調査

第4章 畜産物の流通と価格

1) 牛 乳

(1) 生乳生産量の推移

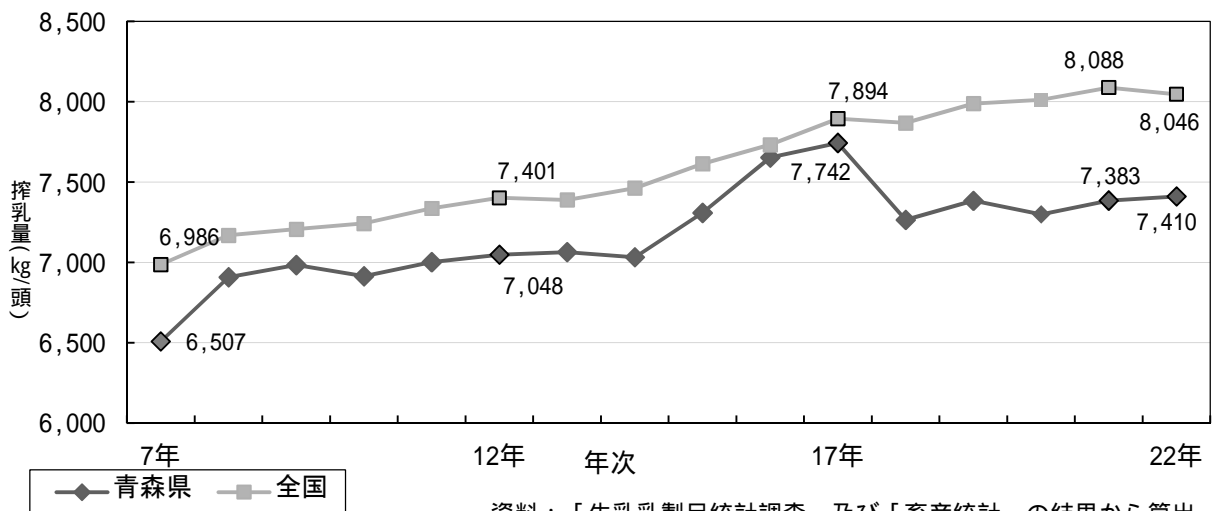
平成23年の生乳生産量は67,765tとなり、22年の猛暑や震災の影響等により前年より4,105t減少した（対前年比5.7%減）。



資料：牛乳乳製品統計（23年は速報値）

(2) 経産牛1頭当たり年間搾乳量の推移

本県の平成21年の経産牛1頭当たり年間搾乳量は、7,383kg/頭となった。



資料：「牛乳乳製品統計調査」及び「畜産統計」の結果から算出。

(3) 生乳の価格

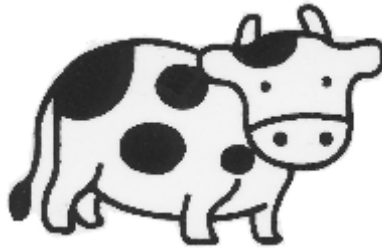
（単位：円）

乳価	年度	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年	22年
プール乳価 （補給金含む）		101.37	101.4	88.27	84.06	81.44	82.97	85.06	91.99	90.07

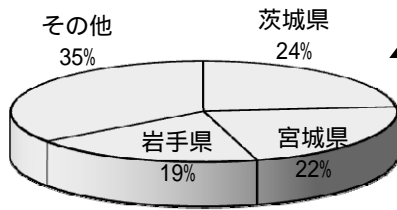
14年度以降は運賃も含む

資料：全農青森県本部調査

(4) 生乳の流通経路 (20年次)



生乳・移出 (t)



茨城県	15,561t
宮城県	14,424t
岩手県	12,811t
その他	23,054t
合計	65,850t

県内生乳生産量
76,873t

(85.7%)
↓
(14.3%)
11,023t
(100.0%)

生乳処理量
11,023t

飲用牛乳等向け
10,626t
(96.4%)

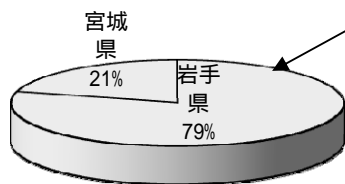
乳製品向け
25t
(0.2%)

その他向け
372t
(3.4%)

生産量

飲用牛乳等 10,704kl			その他 375kl	
牛乳 9,894kl	うち学乳 3,669kl	加工乳・成分調整乳 810kl	乳飲料 40kl	はっ酵乳 335kl

飲用牛乳等・移出 (kl)

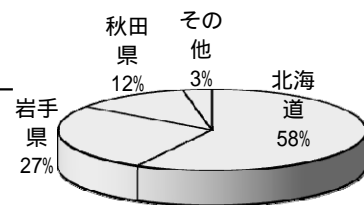


岩手県	57kl
宮城県	15kl
合計	72kl

(0.7%)
↓
(99.3%)

10,632kl
(46.1%)
↓
(53.9%)
飲用牛乳等
県内推定出回り量
23,061kl

飲用牛乳等・移入 (kl)



北海道	7,212kl
岩手県	3,319kl
秋田県	1,523kl
その他	375kl
合計	12,429kl

2) 肉用牛

(1) 子牛の取引頭数

平成21年の子牛の取引頭数は14,365頭（対前年比5.7%減）と前年より863頭減少した。

（単位：頭）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年
子牛	肉専用種	7,127	8,033	8,535	6,657	7,360	5,856	7,068	7,385
	乳用種	935	3,811	3,668	9,507	8,220	8,603	8,160	6,980
	計	8,062	11,844	12,203	16,164	15,580	14,459	15,228	14,365
成牛		7,736	10,680	8,839	9,257	8,152	3,679	2,319	2,441

資料：県畜産課調査

(2) 子牛の価格（県家畜市場）

黒毛和種の子牛価格は、配合飼料価格の高騰や牛肉消費低迷の影響を受けた枝肉価格の低落などにより、409千円（対前年比13.9%減）と前年を大幅に下回った。

（単位：千円）

		55年		60年		2年		7年	12年	17年	20年	21年
		春	秋	春	秋	春	秋	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月
平均価格（消費税抜き）		267	284	161	205	330	260	241	337	462	471	403
品別	日本短角種	272	277	177	205	273	187	127	107	209	270	201
	黒毛和種	285	305	157	206	355	318	279	355	470	475	409
	交雑種	-	-	-	-	-	283	183	186	263	166	164

資料：県畜産課調査

< 参考 > 指定肉用子牛取引状況

区分		青森県				全国			
		取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価
黒毛和種	平成12年	4,713	276	370,760	1,342	355,594	279	387,108	1,385
	平成17年	5,593	285	486,143	1,703	361,864	273	478,716	1,755
	平成20年	6,279	292	465,893	1,598	376,036	278	415,484	1,493
	平成21年	6,660	292	399,455	1,368	387,893	278	359,210	1,292
	平成22年	6,516	293	398,672	1,363	352,143	279	376,503	1,349
日本短角種	平成12年	155	270	104,959	389	1,761	236	131,079	556
	平成17年	88	277	212,350	768	1,218	242	228,122	942
	平成20年	58	254	256,906	1,011	904	240	207,896	867
	平成21年	62	276	193,691	702	1,177	242	147,024	607
	平成22年	52	275	169,110	615	1,131	239	123,988	519

指定肉用子牛：肉用子牛生産安定等特別措置法で定められる規格内の子牛

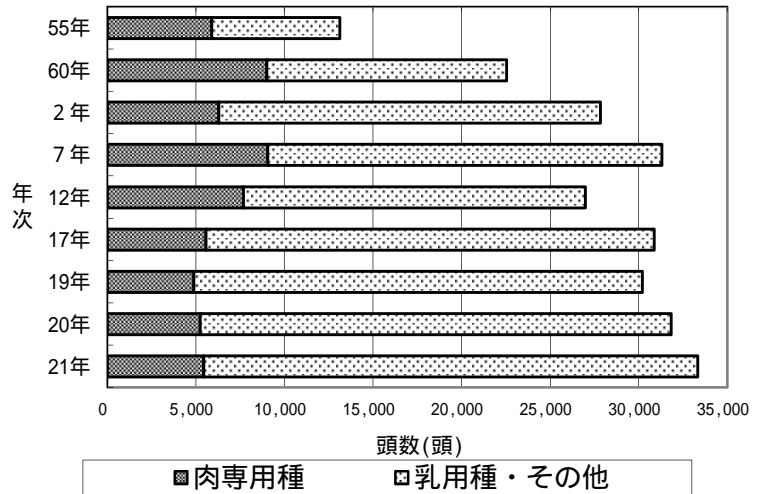
資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

(3) 肉用牛(成牛)の出荷頭数の推移

平成21年の出荷頭数は、33,318頭(対前年比4.7%増)となり、種類別内訳は乳用種及びその他83.7%、肉用種16.3%となっている。

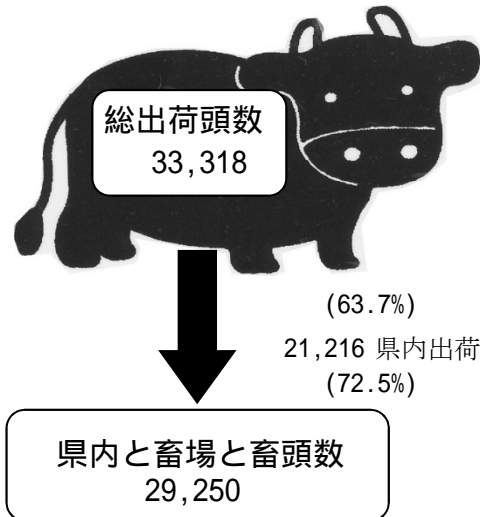
(単位：頭)

	肉専用種	乳用種・その他	合計
55年	5,898	7,221	13,119
60年	9,003	13,526	22,529
2年	6,283	21,545	27,828
7年	9,045	22,243	31,288
12年	7,671	19,305	26,976
17年	5,563	25,305	30,868
19年	4,887	25,307	30,194
20年	5,237	26,571	31,808
21年	5,439	27,879	33,318



資料：畜産物流通統計

(4) 肉用牛の流通(21年次、単位：頭)



県外へ出荷
12,102
(36.3%)

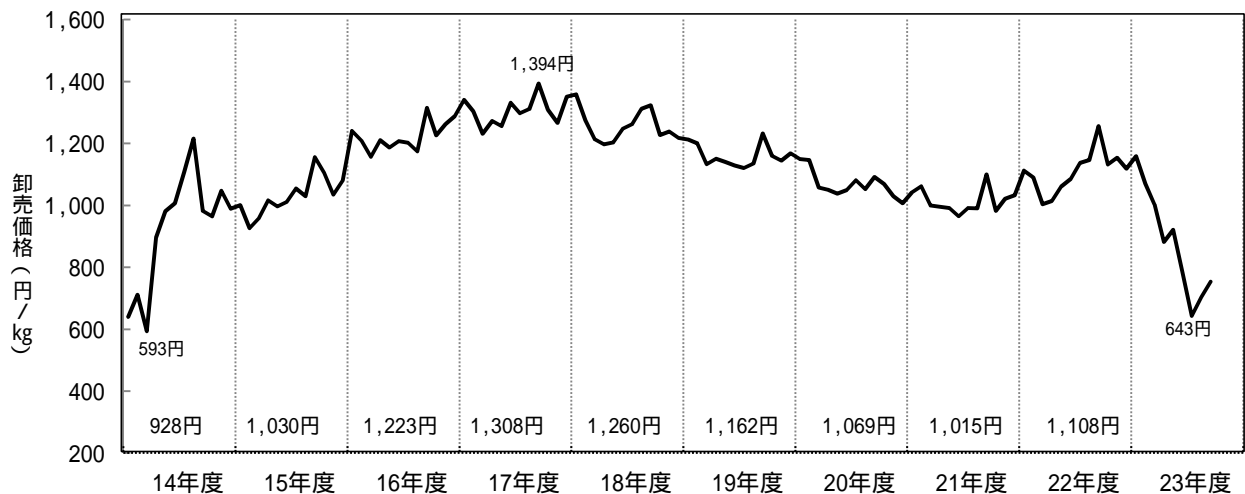
	内 訳	割 合
宮城県	4,075	33.7%
東京都	3,062	25.3%
岩手県	1,625	13.4%
その他	3,340	27.6%

県外からの
生体移入
8,034
(24.1%)

	内 訳	割 合
岩手県	3,289	40.9%
宮城県	2,007	25.0%
福島県	1,555	19.4%
その他	1,183	14.7%

資料：畜産物流通統計

(5) 牛枝肉の卸売価格の推移(東京市場 省令価格)



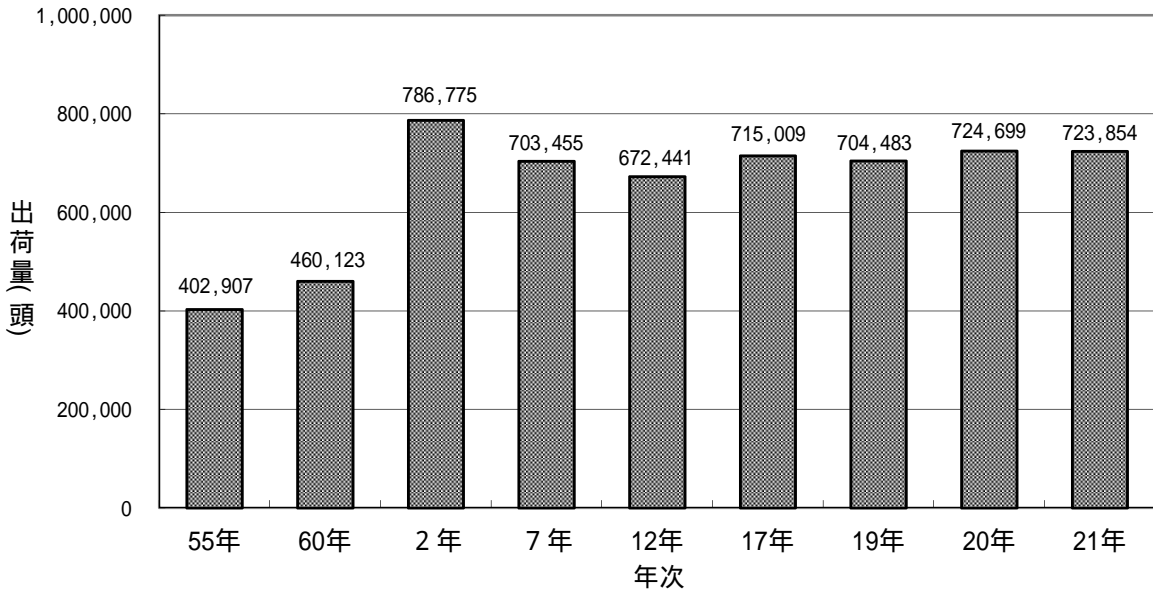
省令規格とは、去勢牛の「B-2」「B-3」を合わせたもの。

資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

3) 豚

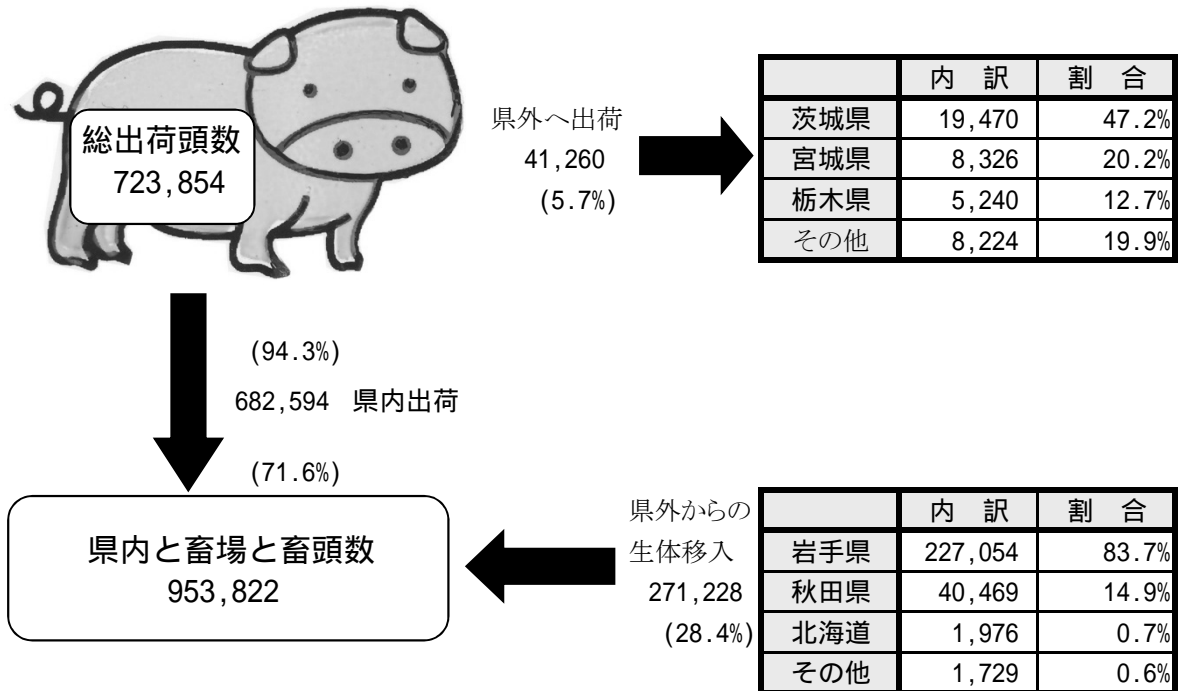
(1) 肉豚の出荷頭数の推移

平成21年の肉豚の出荷頭数は723,854頭（対前年比0.1%減）となり、ほぼ前年並みであった。



資料：畜産物流通統計

(2) 肉豚の流通（21年次、単位：頭）



資料：畜産物流通統計

(3) 子豚の価格

(単位：円/頭) 円/頭)

区分 \ 年	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年	22年
子豚	25,957	25,606	22,186	18,846	14,606	19,075	22,264	15,797	15,974

17年までは三本木産地家畜市場、18年以降はおいらせ農協産地家畜市場における平均子豚価格。

資料：県畜産課調査

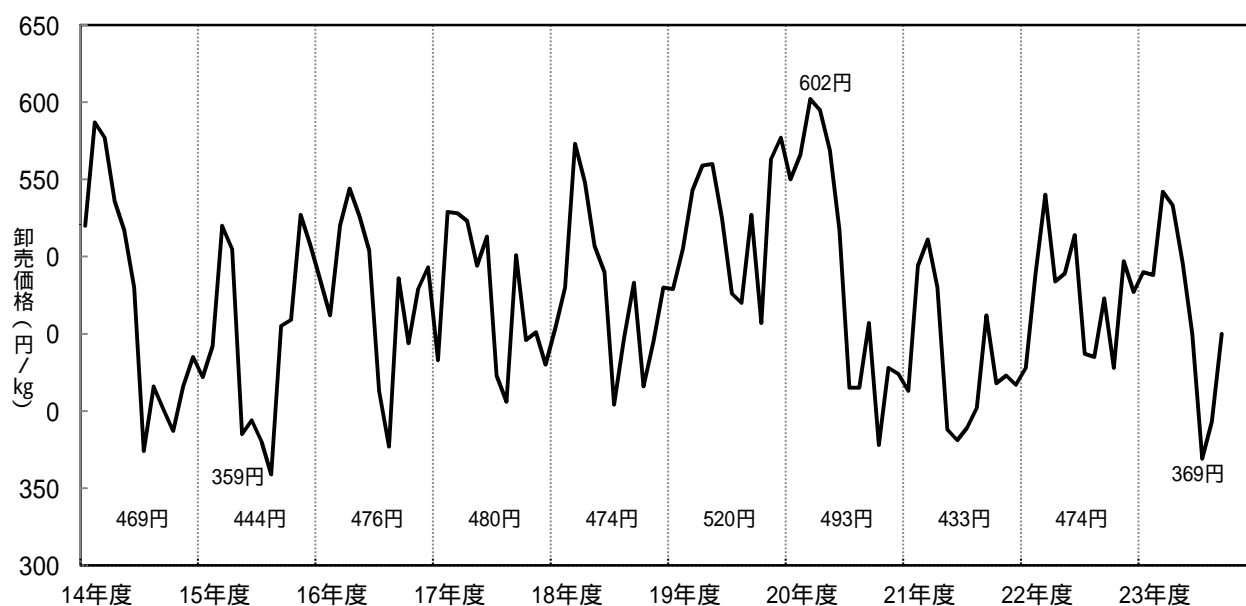
(4) 豚枝肉の卸売価格（東京市場省令規格）

(単位：円/kg)

規格 \ 年	55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
豚「省令規格」	628	601	486	458	436	480	498	523	429

資料：畜産物流通統計

<参考> 豚枝肉の卸売価格の推移（東京市場 省令規格）



省令規格とは、極上・上・中・並・等外の規格のうち、「上」規格以上のものを指す。

資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

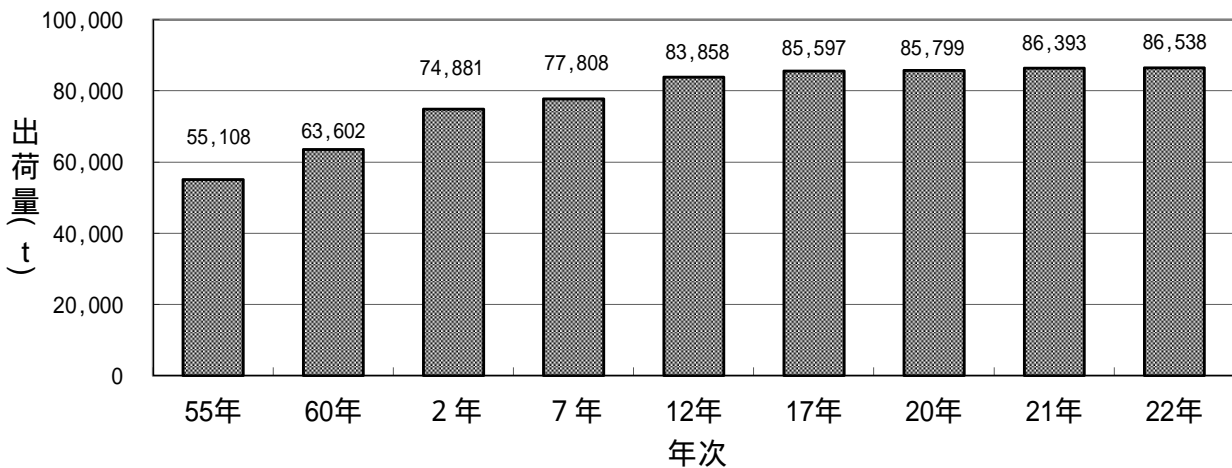
4) 鶏 卵

(1) 鶏卵の生産量・出荷量の推移

平成22年の鶏卵の生産量は88,180t（対前年比±0%）、出荷量は86,538t（対前年比+0.2%）と、ほぼ前年並みであった。

（単位：t）

	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年	22年
生産量	56,190	65,027	76,537	80,448	85,898	87,432	87,520	88,143	88,180
出荷量	55,108	63,602	74,881	77,808	83,858	85,597	85,799	86,393	86,538



資料：畜産物流通統計

(2) 鶏卵の流通（22年次、単位：t）



県外へ出荷
52,693
(60.9%)

	内 訳	割 合
東京都	44,724	84.9%
宮城県	2,443	4.6%
大阪府	2,080	3.9%
その他	3,446	6.5%

(39.1%)

33,845 県内出荷

(78.5%)

県内総入荷量
43,116

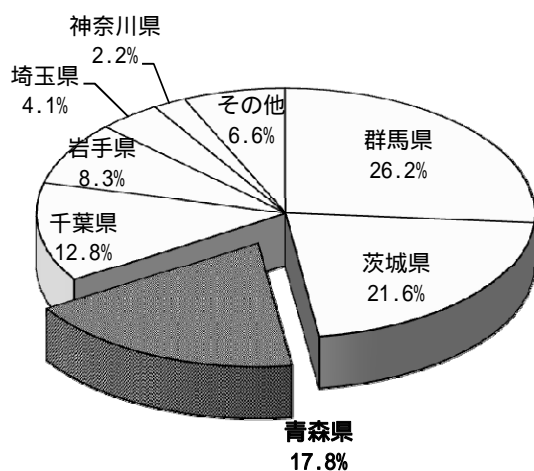
県外から
入荷
9,271
(21.5%)

	内 訳	割 合
岩手県	7,157	77.2%
宮城県	1,970	21.2%
秋田県	134	1.4%
その他	10	0.1%

資料：畜産物流通統計

(3) 東京市場入荷量に占める県産鶏卵の割合(22年次)

東京市場入荷量は、本県産が全国で3番目であり、44,724tと全体の17.8%を占める。



(単位: t)

	入荷量
合計	244,783
群馬県	64,128
茨城県	52,921
青森県	44,724
千葉県	31,268
岩手県	20,215
埼玉県	10,003
神奈川県	5,273
その他	16,251

資料: 畜産物流通統計

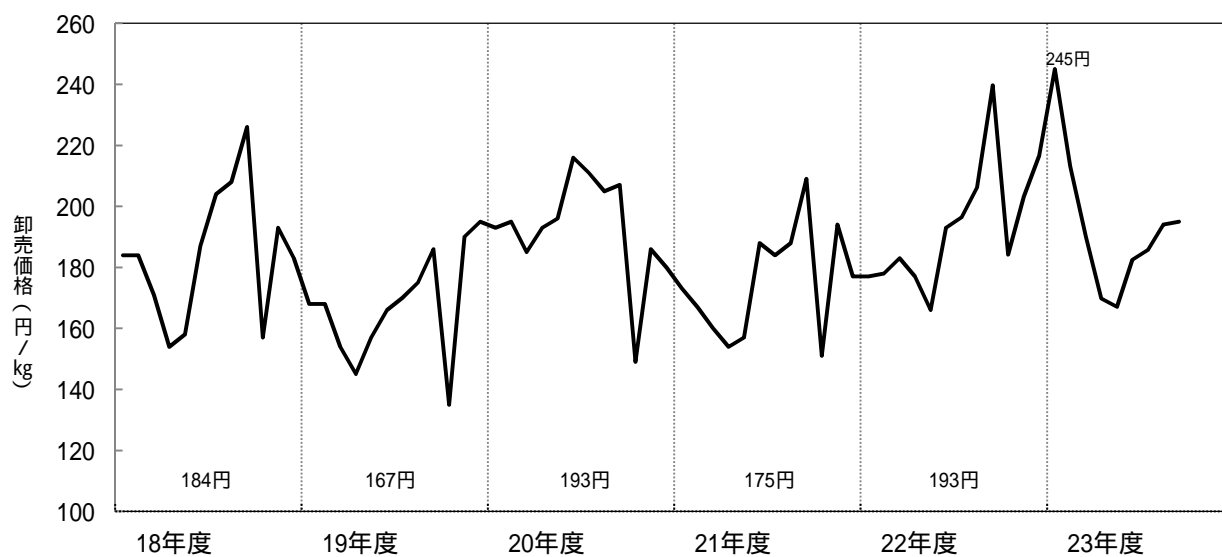
(4) 鶏卵の卸売価格(東京市場 規格「M」)

(単位: 円/kg)

規格 \ 年度	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年	22年
規格「M」	300	269	230	190	189	204	193	175	187

資料: 全農畜産販売部情報
(昭和60年まで畜産物流通統計)

<参考> 鶏卵卸売価格の直近の動き(東京市場 規格「M」)

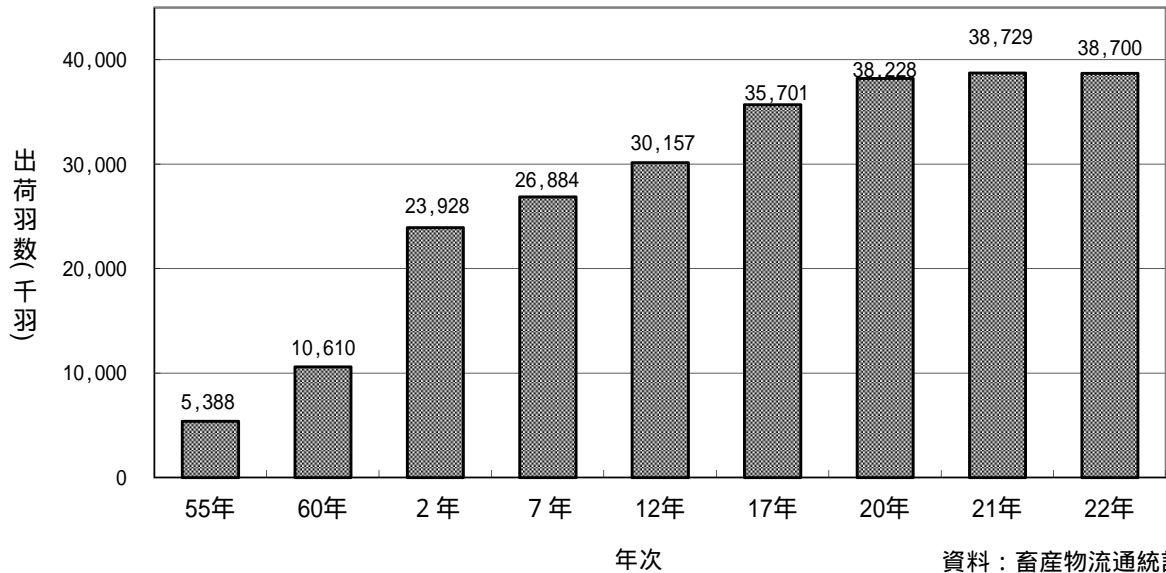


資料: 全農畜産販売部情報

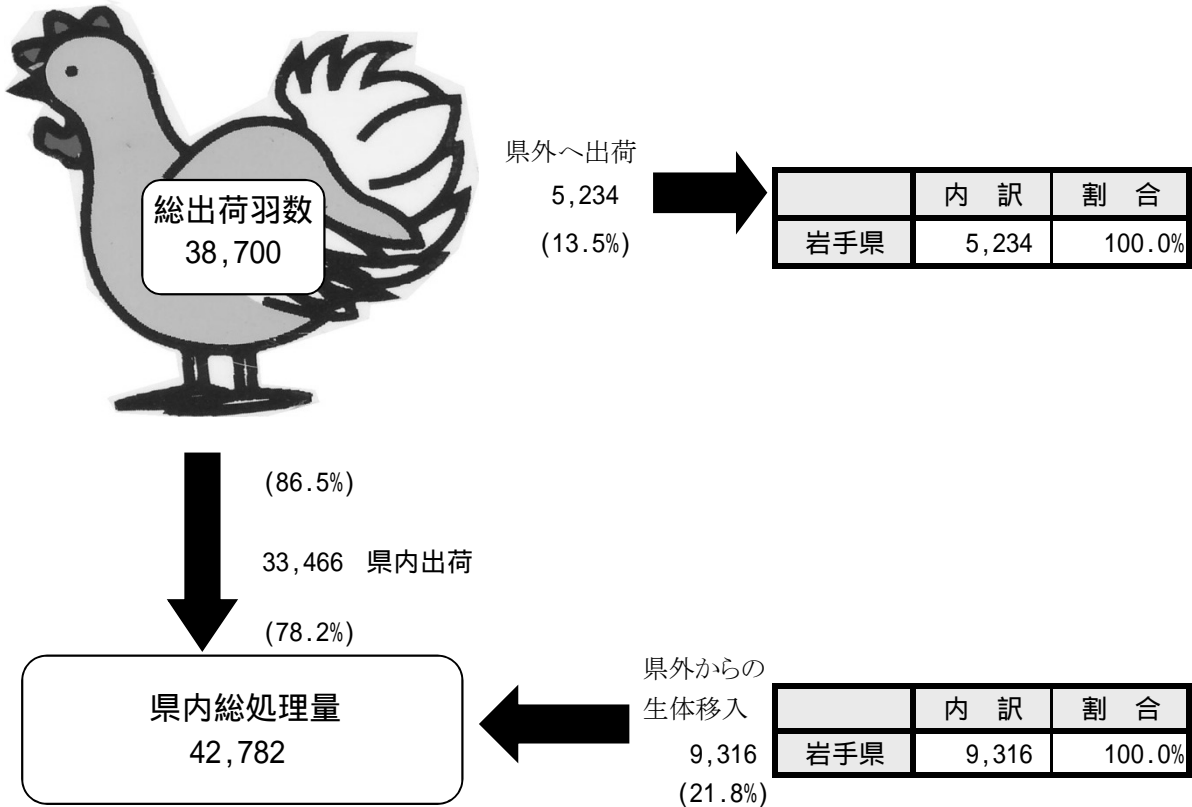
5) プロイラー

(1) プロイラー出荷羽数の推移

平成22年の出荷羽数は、38,700千羽（対前年比0.1%減）となり、ほぼ前年並みであった。



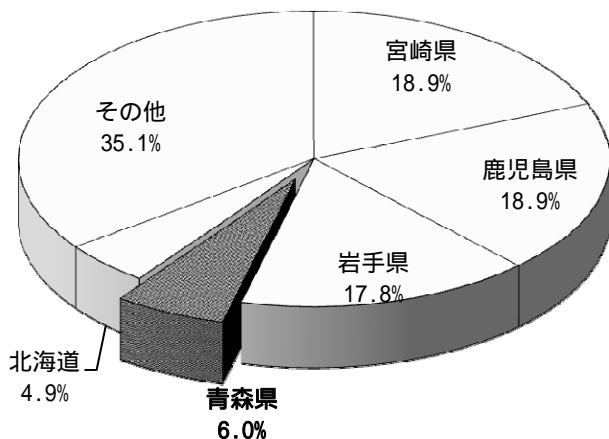
(2) プロイラーの流通(22年次、単位:千羽)



資料：畜産物流通統計

(3) プロイラーの都道府県別出荷羽数の構成割合(22年次、単位：千羽)

青森県は、プロイラーの出荷羽数は全国4位で、全体の6.0%を占めている。

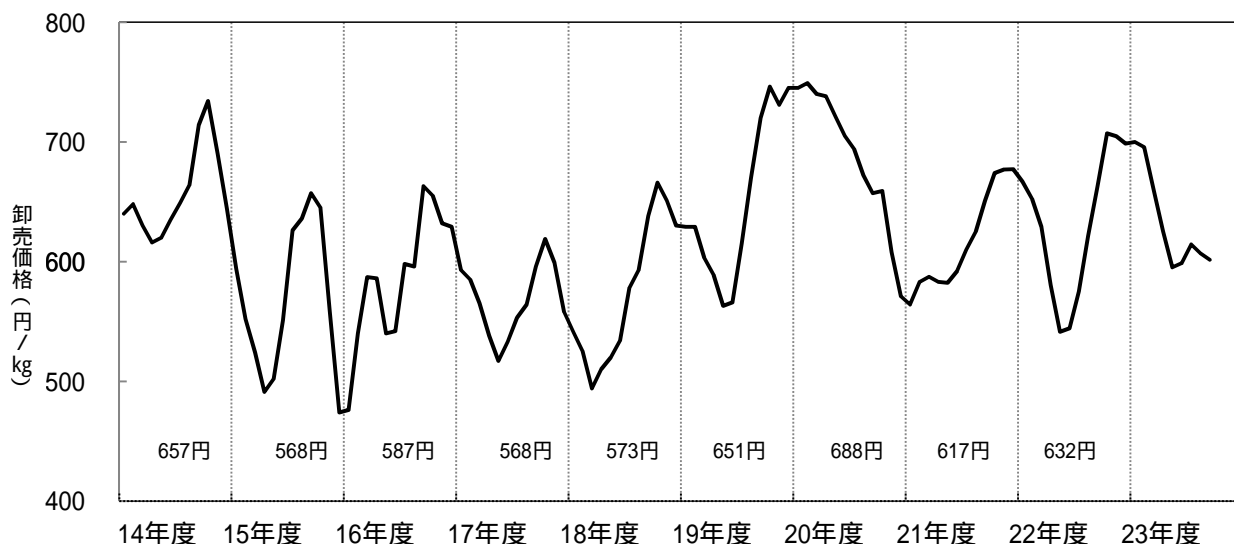


(単位：羽)

出荷羽数	
合計	633,799
宮崎県	119,862
鹿児島県	119,751
岩手県	102,181
青森県	38,700
北海道	30,824
その他	222,481

資料：畜産物流通統計

(4) 鶏肉の卸売価格の推移(東京市場 もも肉)



資料：食鳥市況情報、プロイラー卸売価格

6) 畜産物支出金額、購入数量

平成22年 世帯1人当たり支出金額、購入数量

(単位：円、g、本)

区域	区分	消費支出	食料費						生鮮魚介
			牛乳	卵	牛肉	豚肉	鶏肉		
青森市 (世帯人数3.25人)	支出金額	924,676	256,840	4,396	2,475	3,189	7,542	3,220	15,671
	購入数量			119	12,086	1,634	7,283	4,459	16,212
全国 (世帯人数3.09人)	支出金額	1,127,162	286,333	5,276	2,716	6,137	7,753	4,008	15,526
	購入数量			138	10,092	2,240	5,986	4,451	10,996

牛乳の購入数量は200cc本

資料：家計調査年報

第5章 畜産物の生産費と収益性

1) 生 乳

(1) 生乳生産費の推移

平成21年の生乳100kg当たりの費用合計は8,578円（対前年比0.6%増）となり、費用の内訳は流通飼料費（38.8%）と労働費（21.2%）の占める割合が高い。

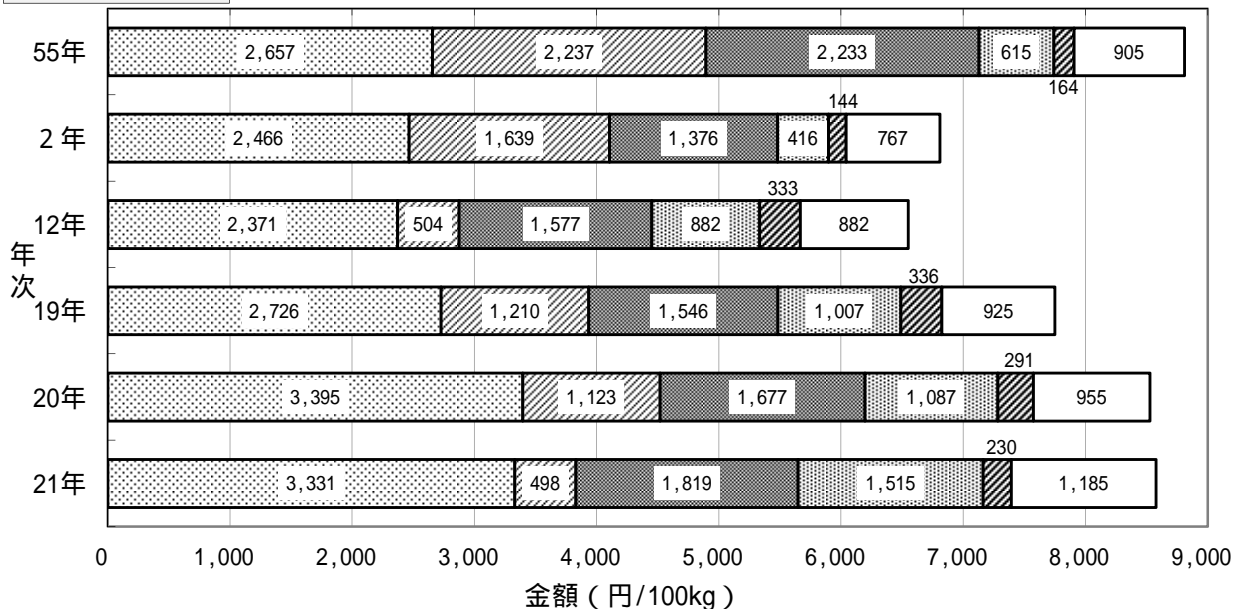
（単位：円/100kg）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
生産費	全算入生産費	8,101	7,631	5,677	6,421	6,747	7,290	7,767	8,626	8,641
	費用合計	8,811	8,044	6,808	6,697	6,549	7,313	7,750	8,528	8,578

12年から調査期間変更

資料：農畜産物生産費統計

費用合計の内訳



□流通飼料費 □牧草・放牧・採草費 ■労働費 □乳牛償却費 □獣医師料及び医薬品費 □その他

全算入生産費とは

生産費 = 費用合計 - 副産物価格

全算入生産費 = 生産費 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代

(2) 生乳生産における収益性の推移

平成21年の搾乳牛1頭当たりの所得は129,035円（対前年比173.1%増）となった。

（単位：円）

年次		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
収益性	所得 (搾乳牛1頭)	196,813	198,860	291,629	259,396	204,675	145,955	53,319	47,245	129,035
	家族労働報酬 (1日)	6,506	8,864	17,379	14,893	13,473	10,656	2,642	1,483	7,565

平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：農畜産物生産費統計

2) 肉用牛

(1) 子牛生産費の推移

平成21年の子牛1頭当たりの費用合計は567,700円（対前年比10.5%減）となり、費用の内訳は労働費（32.8%）と流通飼料費（24.1%）の占める割合が高い。

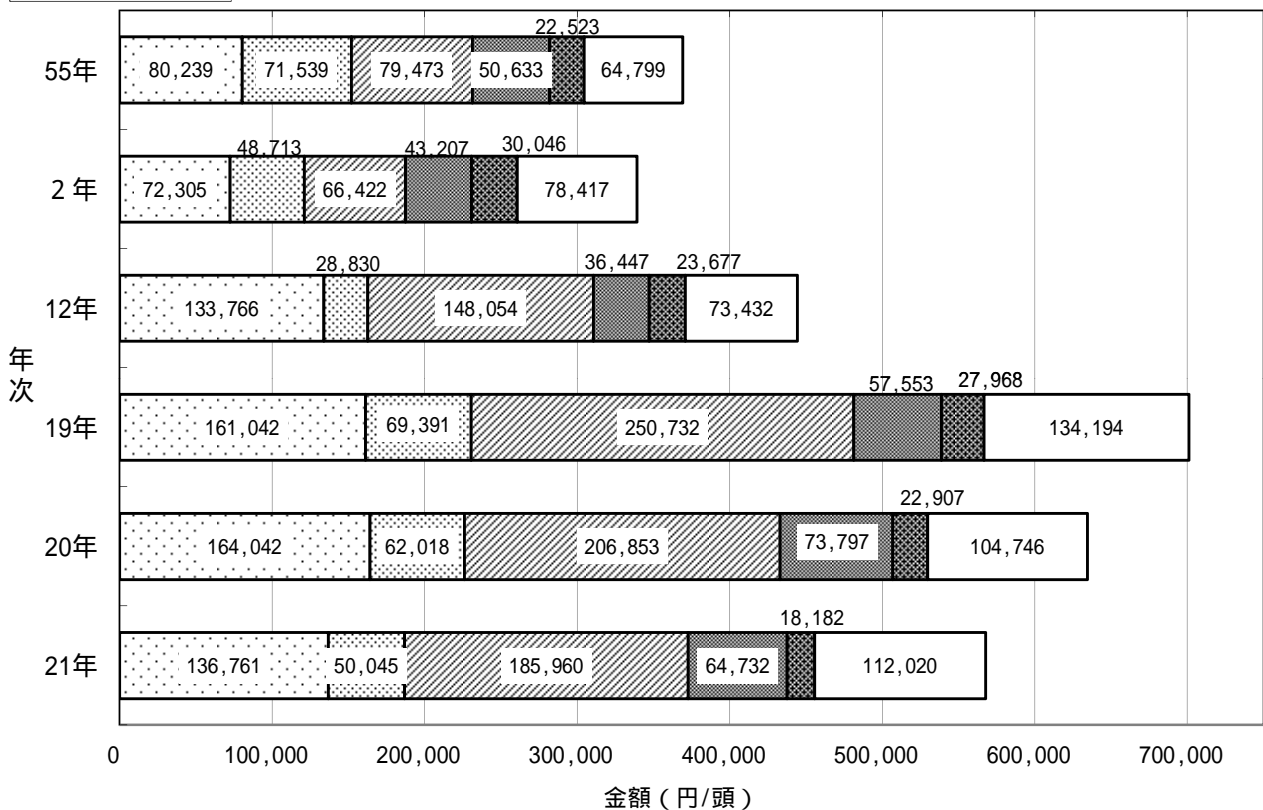
（単位：円/頭）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
生産費	全算入生産費	410,203	397,362	381,656	350,671	468,405	666,565	866,664	788,416	729,645
	費用合計	369,206	367,095	339,110	328,614	444,206	551,043	700,880	634,363	567,700

12年から調査期間変更

資料：農畜産物生産費統計

費用合計の内訳



□流通飼料費 □牧草・放牧・採草費 □労働費 □繁殖めす牛償却費 ■賃借料及び料金 □その他

(2) 子牛生産における収益性の推移

平成21年の子牛1頭当たりの所得は 29,055円となった。

（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
収益性	所得 (子牛1頭)	42,251	78,645	218,787	8,545	54,141	132,956	31,850	42,520	29,055
	家族労働報酬 (1日)	21,114	15,064	15,894	3,586	637	1,526	-	-	-

平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：農畜産物生産費統計

(3) 肥育牛(去勢若齢)生産費の推移

平成21年の肥育牛1頭当たりの費用合計は857,252円(対前年比7.0%減)となり、費用の内訳は、もと畜費(52.1%)と流通飼料費(28.2%)の占める割合が高い。

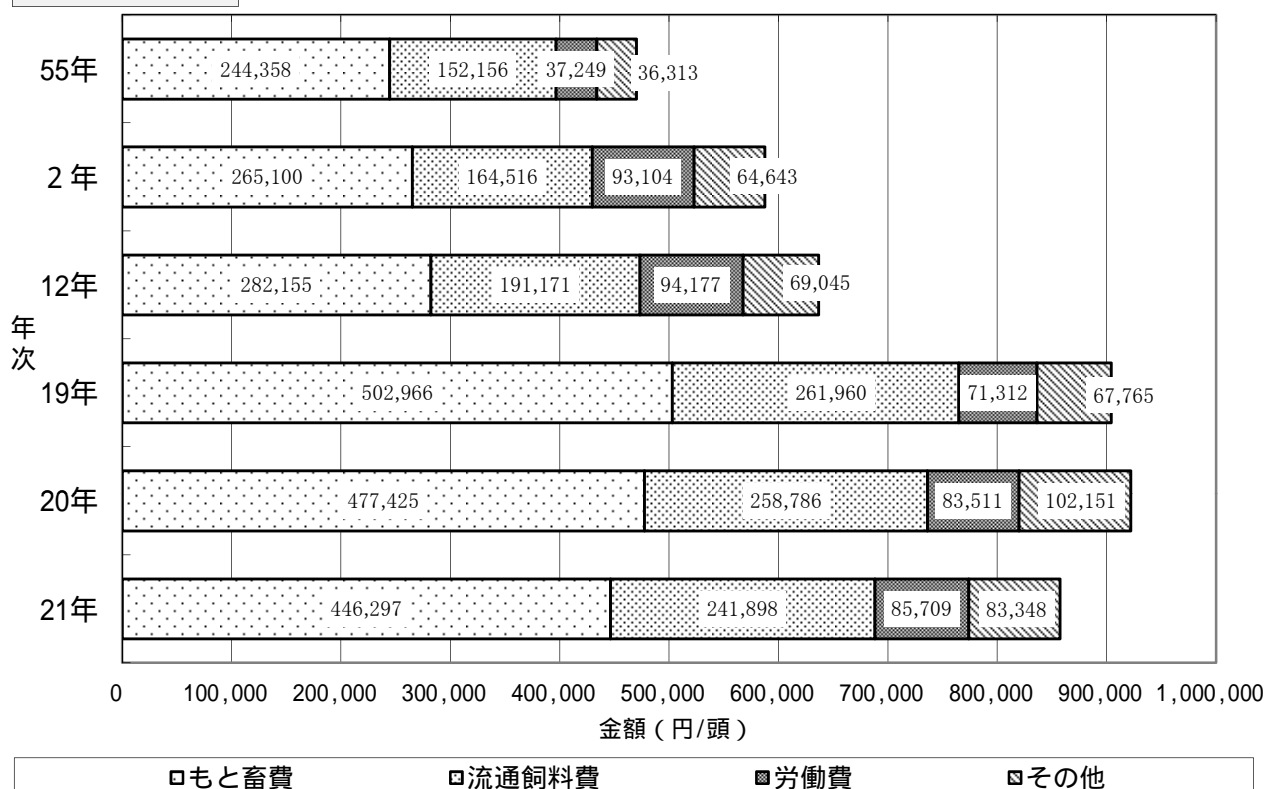
(単位:円/頭)

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
生産費	全算入生産費	476,799	406,732	565,619	458,050	623,381	819,921	929,985	967,449	891,163
	費用合計	470,076	416,459	587,363	455,719	636,548	815,171	904,003	921,873	857,252

平成10年から労働費の算出方法変更。12年から調査期間変更。

資料:農畜産物生産費統計

費用合計の内訳



(4) 肥育牛(去勢若齢)生産における収益性の推移

平成21年の肥育牛1頭当たりの所得は97,995円となった。

(単位:円)

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
収益性	所得(1頭)	66,515	83,536	101,135	95,105	8,857	192,233	16,185	164,361	97,995
	家族労働報酬(1日)	7,089	12,542	7,016	13,760	2,594	25,544	27	-	-

資料:農畜産物生産費統計

3) 豚

(1) 肥育豚生産費の推移

平成21年の肥育豚1頭当たりの費用合計は26,454円（対前年22.0%減）となり、費用の内訳は流通飼料費（68.8%）と労働費（10.8%）の占める割合が高い。

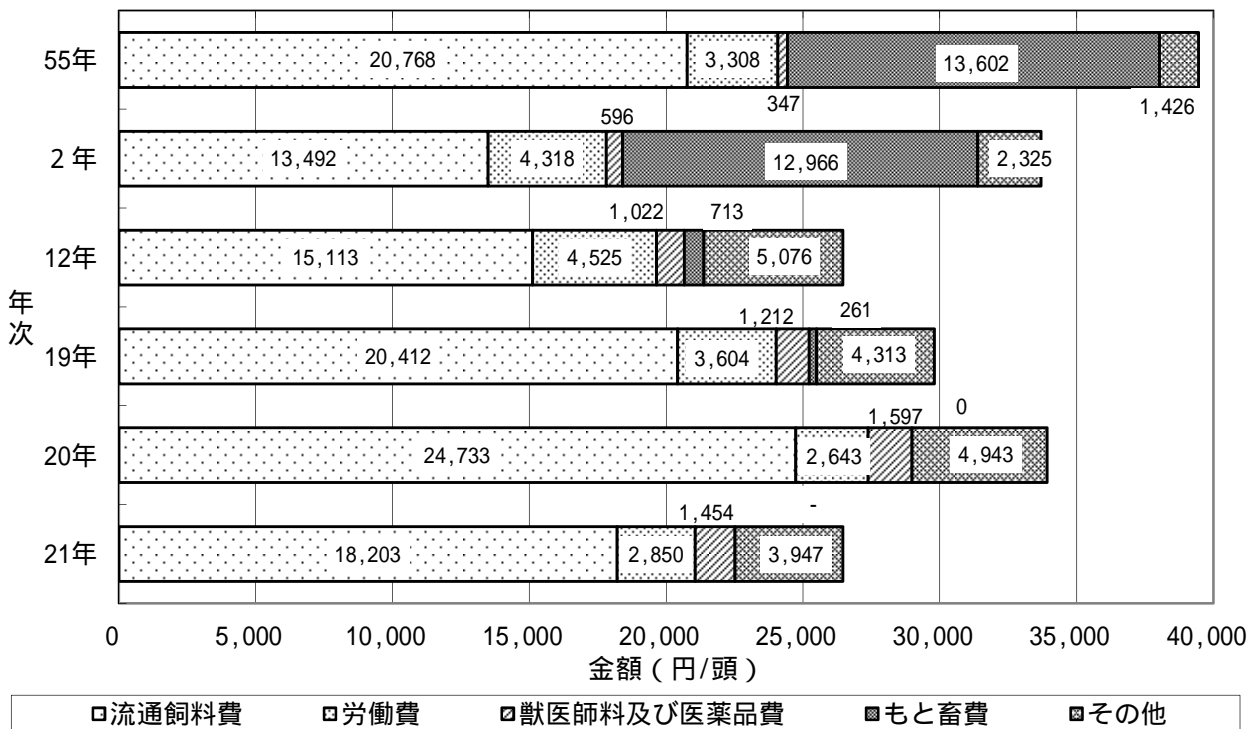
（単位：円/頭）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
生産費	全算入生産費	39,526	46,560	32,612	25,050	27,324	24,751	29,842	34,367	26,640
	費用合計	39,451	47,355	33,697	24,923	26,449	24,360	29,802	33,916	26,454

資料：農畜産物生産費統計

平成5年から、調査対象農家を、肥育経営農家から一貫経営農家へ変更している。

費用合計の内訳



(2) 肥育豚生産における収益性の推移

平成21年の肥育豚1頭当たりの所得は、995円となった。

（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
収益性	所得 (1頭)	496	1,705	317	7,000	5,314	7,945	5,638	1,521	995
	家族労働報酬 (1日)	-	1,882	1,606	17,600	9,442	26,016	19,420	-	2,450

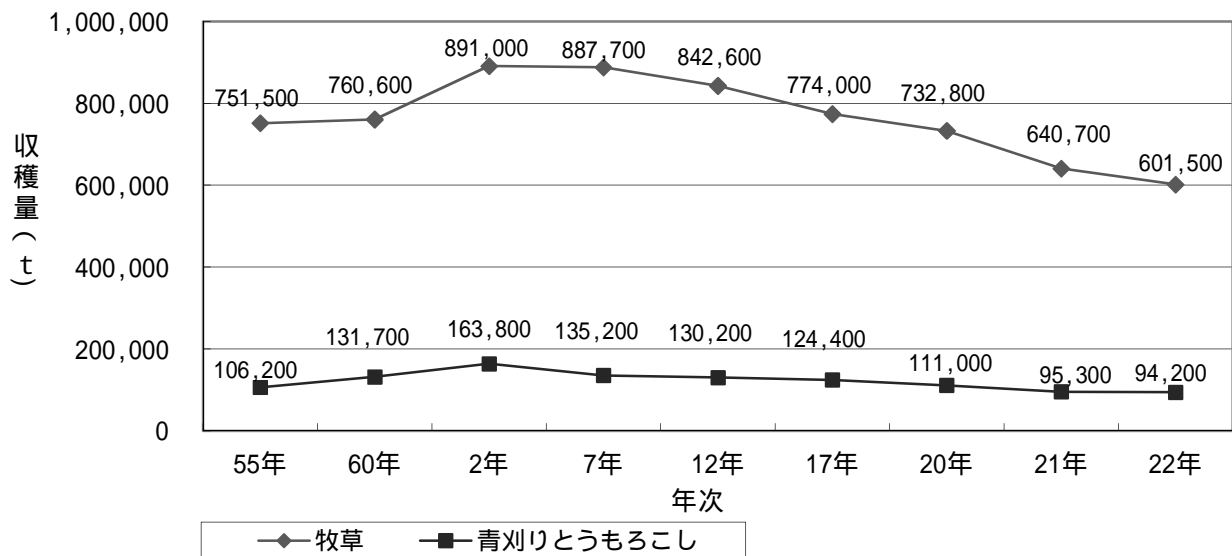
資料：農畜産物生産費統計

第6章 草地と飼料

1) 自給飼料の状況

(1) 飼料作物の収穫量

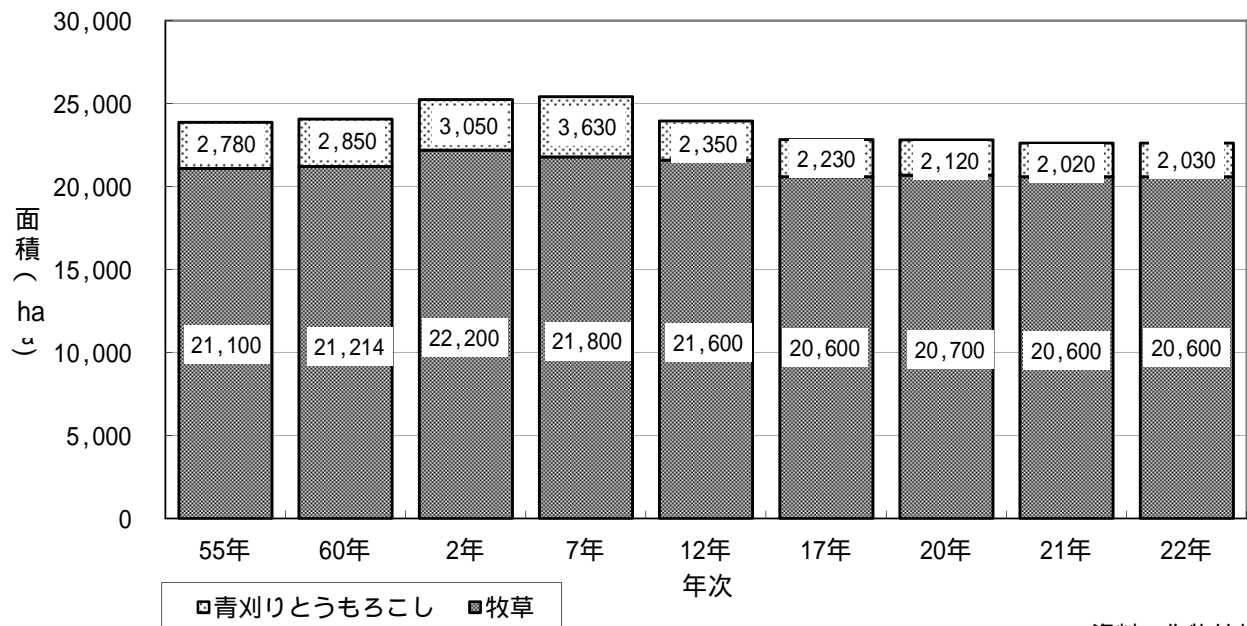
平成22年の飼料作物の収穫量は、牧草は対前年比6.1%減の601,500t、青刈りとうもろこしは対前年比1.2%減の94,200tとなった。



資料：作物統計

(2) 飼料作物の作付面積

平成22年の作付面積は、牧草は昨年同様で20,600ha、青刈りとうもろこしは対前年比0.1%増の2,030haとなった。



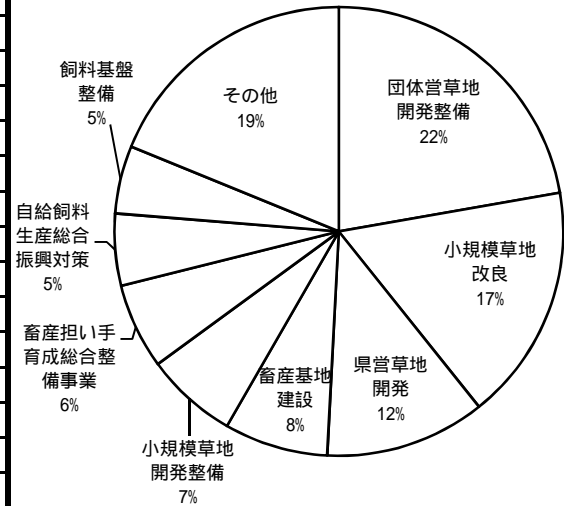
資料：作物統計

2) 草地面積

(1) 草地造成・整備面積（昭和36年～平成22年）

(単位：ha)

事業名	造成・整備面積
団体営草地開発整備事業	4,187.28
小規模草地改良事業	3,210.90
県営草地開発事業	2,177.35
畜産基地建設事業	1,410.20
小規模草地開発整備事業	1,245.61
畜産担い手育成総合整備事業	1,163.04
自給飼料生産総合振興対策事業	977.00
飼料基盤整備事業	922.50
地域畜産総合対策事業	655.41
緊急飼料生産向上特別対策事業	474.40
共同利用模範牧場設置事業	442.80
農業公社牧場設置事業	431.41
集約牧野造成事業	368.00
林野活用畜産環境総合整備モデル事業	282.35
自給飼料生産向上特別対策事業	275.60
改良牧野造成改良事業	188.00
公共育成牧場整備事業	179.32
県営公共牧場整備事業	130.76
公共牧場機能強化事業	90.74
強い農業づくり交付金飼料基盤活用の促進	25.00
畜産環境総合整備統合補助事業	1.00
合計	18,838.67



資料：県畜産課調査

(2) 公共牧場の設置と利用状況（平成22年7月1日現在）

(単位：ha、頭)

	牧場数	面積		放牧頭数			
		うち牧草地	計	乳用牛	肉用牛	馬・羊等	
県計	99	13,259	6,882	6,534	1,026	5,420	88
東青	14	1,412	728	324	0	324	0
中南	3	120	112	58	0	58	0
三八	14	2,521	1,114	1,227	45	1,158	24
西北	13	1,108	683	546	0	546	0
上北	29	5,267	2,856	3,680	947	2,686	47
下北	26	2,831	1,389	699	34	648	17

資料：県畜産課調査

(3) 水田転作による飼料作物の作付動向

(単位：ha)

項目 \ 年度	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年	22年
転作作物面積	17,672	14,851	20,797	13,949	22,907	21,032	22,433	22,655	22,843
飼料作物面積	7,953	5,591	5,928	5,387	6,219	5,155	5,201	5,167	5,413
比率 (/)	45.0%	37.6%	28.5%	38.6%	27.1%	24.5%	23.2%	22.8%	23.7%

※ 飼料用米含む

資料：県農産園芸課調査、農業者戸別所得補償制度加入状況調査

3) 配合飼料の状況

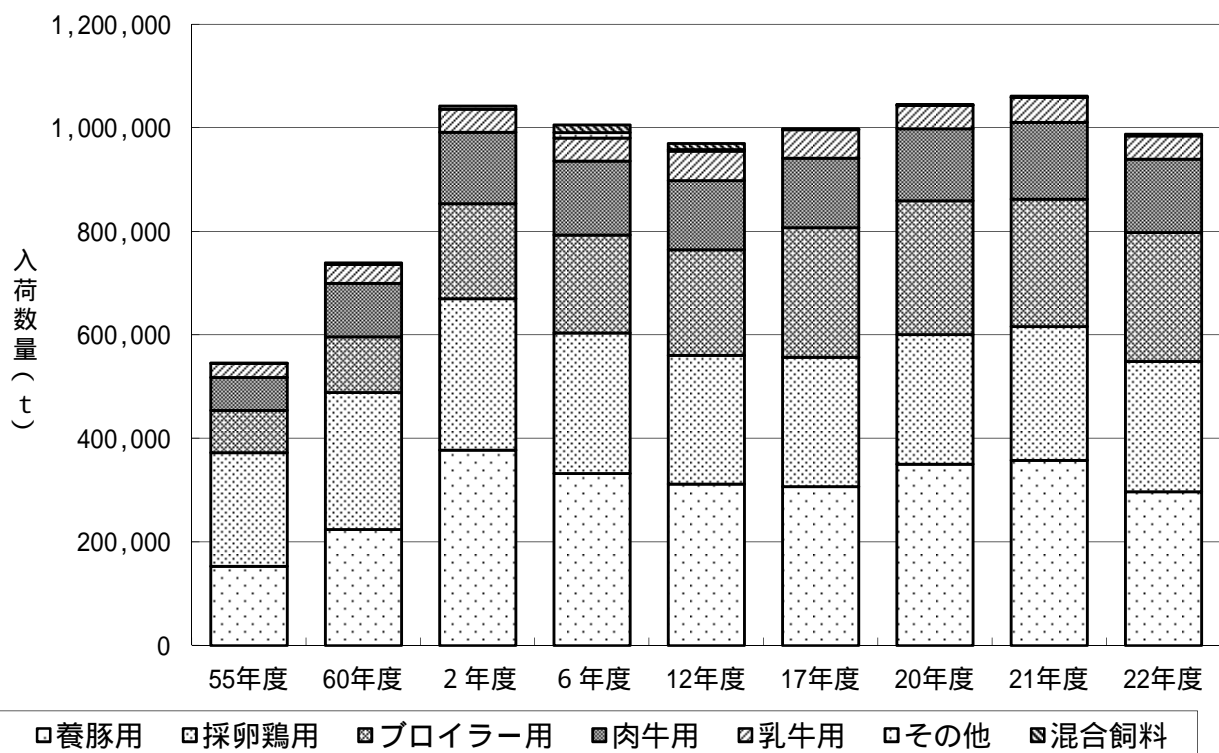
配合飼料の用途別入荷数量

平成22年度の県内の配合飼料入荷数量は103万tで、対前年比3.0%減となった。

(単位：t)

		55年度	60年度	2年度	6年度	12年度	17年度	20年度	21年度	22年度
養鶏用	育すう	32,682	36,937	39,968	38,346	34,550	34,032	35,102	37,802	36,987
	成鶏	186,744	228,050	253,177	233,150	213,943	216,257	215,172	220,733	214,483
	ブロイラー	81,558	107,481	183,397	188,993	204,191	250,450	258,301	246,129	249,129
養豚用	子豚	95,783	146,692	233,344	199,422	162,640	142,071	154,695	157,762	108,738
	肉豚	33,521	34,176	85,149	79,536	99,296	124,349	146,255	148,816	142,915
	種豚	23,657	42,909	58,587	53,331	49,834	40,324	49,377	50,969	45,552
牛用	乳牛用	26,710	36,199	44,646	44,352	56,629	55,075	45,314	48,081	44,926
	肉牛用	64,051	103,598	138,039	143,301	133,954	134,105	139,543	148,526	141,728
その他の家畜家きん用		1,154	3,346	6,215	10,433	3,335	278	111	84	64
配合・混合飼料合計		545,860	739,388	1,042,522	1,005,847	970,119	998,274	1,045,358	1,061,342	1,030,026
うち配合飼料		512,877	718,852	1,016,583	990,864	958,372	996,941	1,043,870	1,058,902	1,026,555
養魚用		535	416	349	358	522	102	171	214	161
その他用		70	824	157	16	190	94	33	62	145

55～2年度の配合飼料の数量は、家畜家きん用の数量と重複している資料：飼料月報 資料：飼料月報



第7章 家畜衛生

1) 家畜防疫事業の推移

家畜伝染病、届出伝染病を中心とした家畜疾病の検査等を計画どおり実施した。

(単位：頭、羽、群)

事業区分		60年度	2年度	6年度	12年度	17年度	21年度	22年度		
検査事業	牛	ブルセラ病	16,155	11,473	11,625	3,819	5,825	1,830	3,486	
		結核病	16,155	11,473	11,674	3,910	6,112	1,981	3,574	
		ヨネ病	3,326	630	1,656	7,150	9,046	9,128	7,704	
		アカバネ病	1,732	1,552	1,529	1,026	540	492	489	
		牛白血病	1,244	1,036	1,034	617	500	483	530	
		牛伝染性疾病	80,754	81,386	90,303	87,534	70,913	67,036	65,722	
	馬	馬伝染性貧血	3,326	2,980	2,992	1,585	1,309	826	823	
		馬伝染性子宮炎	2,540	641	652	496	385	217	266	
		馬パラチフス	1,293	1,203	1,035	602	450	233	210	
		馬鼻肺炎	410	413	447	300	230	219	209	
	豚	豚オーエスキー病	1,098	6,143	4,359	4,612	4,220	5,202	4,961	
		豚コレラ						604	520	
		豚伝染性疾病	160,403	213,455	264,869	192,128	184,434	187,938	172,084	
	家きん	ニューカッスル病 (一般)	5,600	6,190	6,340	5,110	4,977	4,860	4,935	
		ニューカッスル病 (種鶏)	2,235	3,075	3,006	2,500	2,880	2,312	2,350	
		家きんサルモネラ感染症 (種鶏)	7,590	8,050	8,000	6,500	4,807	4,012	3,950	
		マイコプラズマ病 (種鶏)	8,440	8,050	8,200	6,500	5,004	4,012	3,850	
		家きん伝染性疾病	680,094	334,220	370,730	288,997	304,995	308,100	439,510	
		蜂	ふそ病	12,849	12,955	10,444	10,293	9,957	9,261	9,077
	自衛防疫注射事業	牛	牛伝染性鼻気管炎 (混合ワクチンを含む)	7,108	7,523	5,694	7,349	8,172	9,423	9,053
			アカバネ病	104	13,816	9,569	9,323	8,430	8,794	8,015
気腫疽			437	7,012	16,820	12,956	12,072	0	0	
牛クロストリジウム (混合)								9,372	8,569	
炭疽			0	20	0	8	27	0	0	
馬		馬インフルエンザ (混合ワクチンを含む)	1,546	1,320	1,492	234	204	665	710	
		馬鼻肺炎	539	830	442	285	156	0	187	
豚		豚丹毒	478,955	669,474	11,790	508,262	455,122	185,919	170,852	
		豚パルボウイルス	1,081	153	1,699	23	0	112	47	
		豚流行性脳炎・ 豚パルボウイルス混合	0	0	1,659	1,101	704	320	280	
		豚流行性脳炎	619	15,946	11,208	2,987	2,839	3,080	1,550	
鶏		ニューカッスル病	250,480	83,550	64,790	52,290	63,090	100,150	93,000	
		ニューカッスル病 伝染性気管支炎混合	66,000	29,000	13,000	36,000	39,000	50,600	64,000	

資料：県畜産課調査

2) 監視伝染病発生状況（青森県）

（単位：頭、羽、群）

区 分		年次									
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
家畜伝染病 (法第2条)	ヨ－ネ病	32	26	31	16	22	14	13	23	12	8
	結核病					1					
	伝達性海綿状脳症（牛：疑似）			29							
	腐蛆病							4			
	ニューカッスル病		128								
届出伝染病 (法第4条)	牛ウイルス性下痢・粘膜病						1				1
	牛伝染性鼻気管炎	8					11	5			
	牛カンピロバクター症				2						
	牛白血病	10	12	14	11	5	16	19	32	44	32
	気腫疽									1	
	サルモネラ症・牛			2	1			11			2
	サルモネラ症・豚				11	14	4			1	3
	ネオスポラ症	1									
	破傷風（牛）	1					1				
	破傷風（馬）										
	馬バラチフス			1							
	馬鼻肺炎				1		6				
	豚丹毒	94	67	102	52	73	22	41	30	150	169
	豚赤痢					1	2				
	鶏白血病				1		1				
	サルモネラ症・鶏								4		
	鶏伝染性気管支炎								8		
	鶏痘								1		
	マレック病									3	
レプトスピラ症・犬	1(疑症)	2		4				1			

資料：県畜産課調査

第8章 環境保全

環境汚染発生状況

(1) 環境汚染の種類別発生件数

平成21年度の畜産環境汚染の発生は、22件と前年に比べ3件増加した。
原因別では「悪臭発生」に関するものが最も多く、発生件数全体の68%を占める。

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	17年度	20年度	21年度	22年度
悪臭発生	43	52	14	7	9	11	7
水質汚濁	25	19	1	4	2	3	6
水質・悪臭	11	8	2	0	7	2	2
悪臭・害虫	16	6	2	2	1	2	2
害虫発生	21	19	0	0	0	3	1
道路飛散	5	7	0	0	0	1	3
計	121	111	19	13	19	22	21

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

(2) 畜種別発生件数

畜種別合計

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	17年度	20年度	21年度	22年度
豚	65	50	9	7	8	8	8
乳用牛	30	25	0	1	3	1	3
肉用牛	4	5	1	1	8	10	9
採卵鶏	21	23	9	2	0	3	1
ブロイラー	1	1	0	2	0	0	0
その他(馬)	0	7	0	0	0	0	0
計	121	111	19	13	19	22	21

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

飼養規模別件数(畜種別合計の平成22年度内訳)

(単位：件)

		悪臭発生	水質汚濁	水質・悪臭	悪臭・害虫	害虫	道路飛散
豚	1～49頭	1					
	50～499頭	1	1	1			1
	500～999頭						
	1,000頭以上	1	2				
牛	1～19頭				1		1
	20～29頭						
	30～49頭		1				
	50～99頭			1			
	100頭以上	4	2		1		1
採卵鶏	1～4,999羽						
	5,000～9,999羽						
	10,000羽以上					1	
ブロイラー	1～9,999羽						
	10,000～29,999羽						
	30,000～49,999羽						
	50,000～99,999羽						
	100,000羽以上						
その他							
計		7	6	2	2	1	3

資料：県畜産課調査

第9章 参考資料

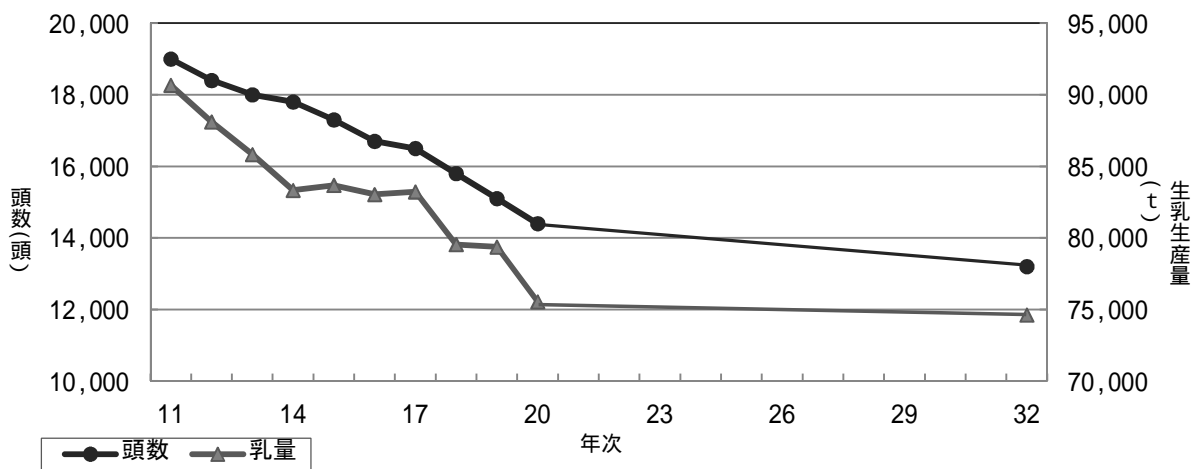
1) 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標

(1) 生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標

(単位：頭、kg、t)

	総頭数 (頭)	成牛頭数 (頭)	経産牛頭数 (頭)	経産牛1頭当たり 年間搾乳量(kg)	生乳生産量 (t)
現在 (20年度)	14,400	10,400	10,100	7,299	75,548
目標 (32年度)	13,200	9,700	9,100	8,200	74,620

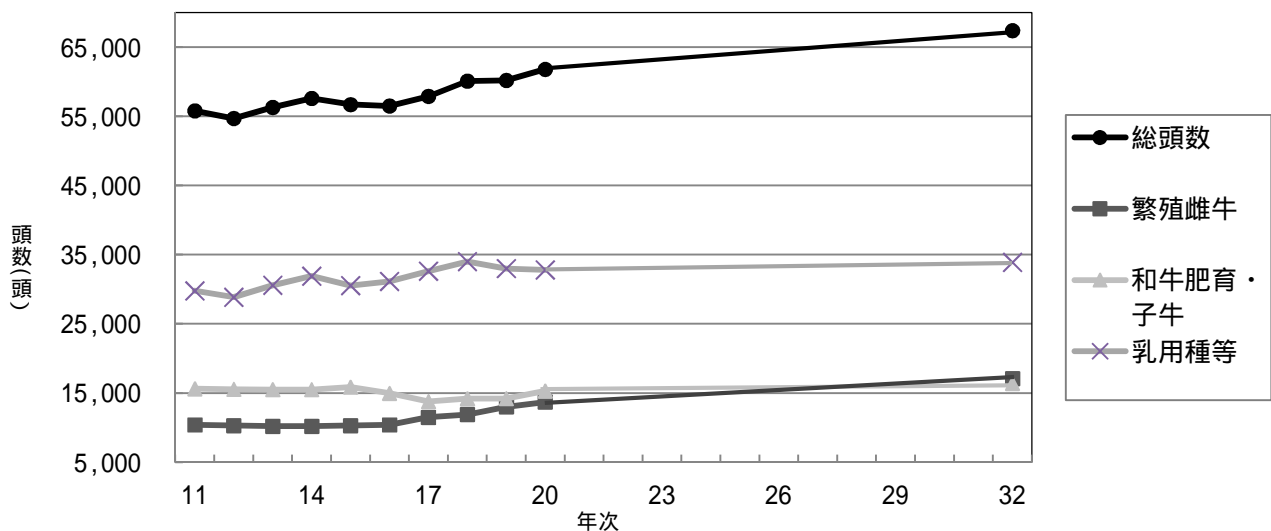
(注) 成牛とは、24ヵ月齢以上のものをいう。



(2) 肉用牛の飼養頭数の目標

(単位：頭)

	肉用牛 総頭数	肉専用種			乳用種等			
		合計	繁殖雌牛 (育成牛含む)	肥育牛	その他	合計	乳用種	交雑種
現在 (20年度)	61,800	29,000	13,700	11,300	4,000	32,800	22,400	10,400
目標 (32年度)	67,400	33,500	17,100	11,800	4,600	33,900	22,900	11,000



2) 畜産行政組織の概要

(平成24年3月1日現在)

農 林 水 産 部

畜 産 課

	電話番号	FAX	郵便番号	住所
企画管理グループ	017-734-9495	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
経営支援グループ	017-734-9496	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
衛生・安全グループ	017-734-9498	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
飼料環境グループ	017-734-9497	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1

酪農振興センター 0175-75-3059 75-2074 039-3214 六ヶ所村平沼田面木272

(青い森農林振興公社を指定管理者として運営)

東青地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室	電話番号	FAX	郵便番号	住所
		017-734-9961	734-8305	030-0822	青森市新町二丁目4-30
	青森家畜保健衛生所	017-764-1744	728-0335	030-0855	青森市大字合子沢字松森395-1

中南地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室 黒石普及分室	電話番号	FAX	郵便番号	住所
		0172-33-2902	34-4390	036-8345	弘前市蔵主町4
		0172-52-4335	53-4114	036-0524	黒石市緑ヶ丘95

三八地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 三戸普及分室	電話番号	FAX	郵便番号	住所
		0178-27-5111(代)	23-2801	039-1101	八戸市尻内町鴨田7
		0178-27-4444	27-3323	039-1101	八戸市尻内町鴨田7
		0179-23-3264-6	23-3274	039-0141	三戸町川守田関根川原85-2
	八戸家畜保健衛生所	0178-27-7415-7	27-7418	039-1101	八戸市尻内町毛合清水7-2

西北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 つがる普及分室	電話番号	FAX	郵便番号	住所
		0173-72-6613	72-6618	038-2753	鱒ヶ沢町本町209
		0173-35-2345	33-1345	037-0046	五所川原市栄町10
		0173-42-2222	42-2272	038-3146	つがる市木造桜木9-1
	つがる家畜保健衛生所	0173-42-2276	42-6087	038-3151	つがる市木造若竹2

上北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 三沢普及分室	電話番号	FAX	郵便番号	住所
		0176-22-8111(代)	22-9161	034-0093	十和田市西十二番町20-12
		0176-23-4281	25-7242	034-0093	十和田市西十二番町20-12
		0176-53-2498	53-8539	033-0024	三沢市東岡三沢1-1-7
	十和田家畜保健衛生所	0176-23-6235	23-3044	034-0093	十和田市西十二番町19-23

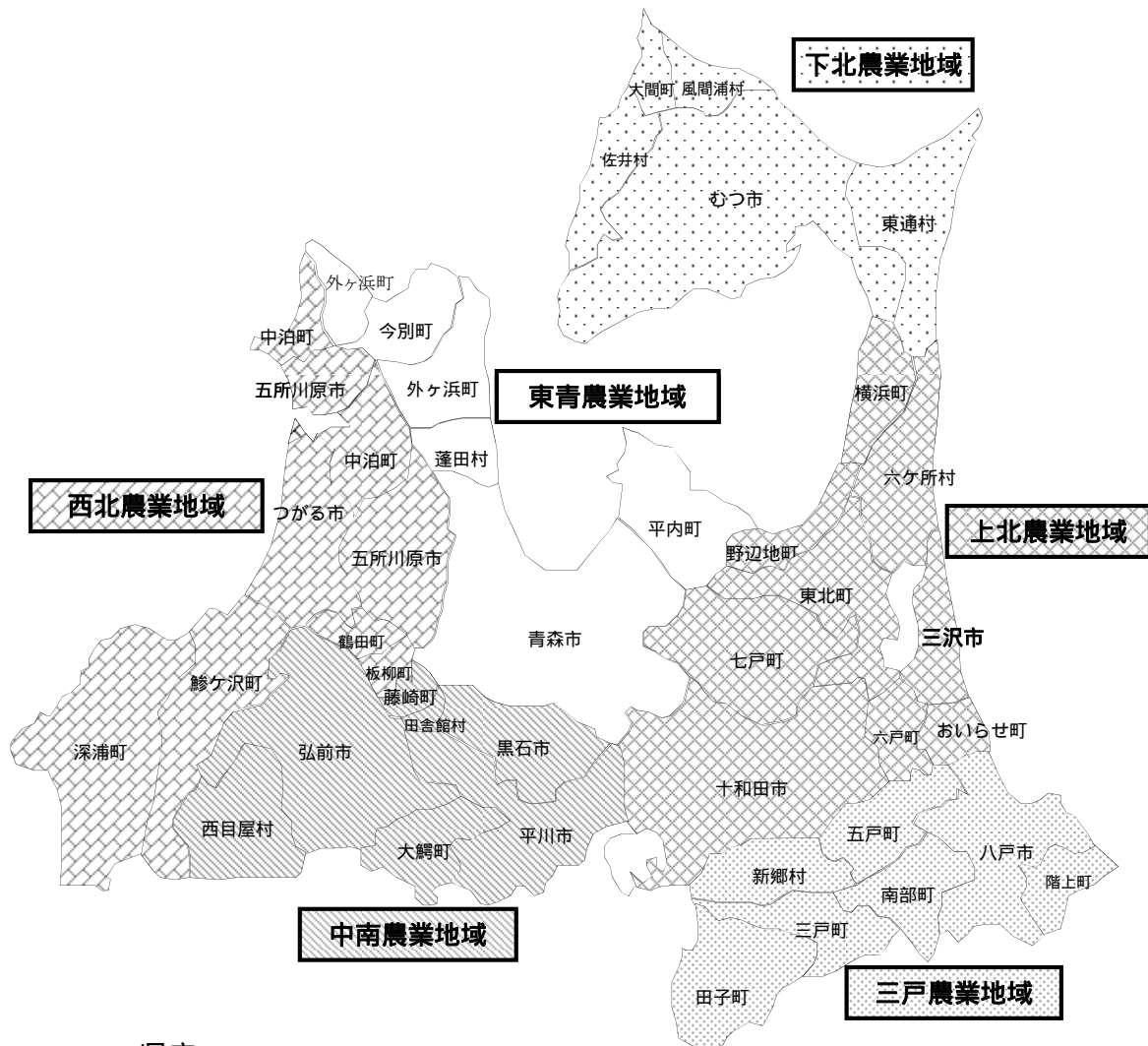
下北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室	電話番号	FAX	郵便番号	住所
		0175-22-8581(代)	22-3212	035-0073	むつ市中央一丁目1-8
		0175-22-2685	22-3212	035-0073	むつ市中央一丁目1-8
	むつ家畜保健衛生所	0175-22-1254	22-1259	035-0072	むつ市金谷二丁目18-25

3) 試験研究機関

地方独立行政法人青森県産業技術センター

畜産研究所	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
繁殖技術肉牛部	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
中小家畜・シヤモロック部	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
酪農飼料環境部	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
和牛改良技術部	0173-26-3153	26-3205	038-2816	つがる市森田町森田月見野558
和牛改良資源部	0179-32-4649	32-4677	039-0201	田子町田子蟹沢9

4) 行政区域・各機関所在地



県庁
 地域県民局地域農林水産部 畜産主務課
 家畜保健衛生所
 普及指導室
 普及指導分室
 畜産研究所
 和牛改良技術部
 和牛改良資源部
 酪農振興センター

5) 畜産関係機関・団体

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
協 会 等	(社) 青 森 県 畜 産 協 会	030-0822	青森市中央2-1-15	017-723-2775	731-1196
	(社) 青 森 県 獣 医 師 会	030-0813	青森市松原2-8-2 獣医師会館内	017-722-5989	722-6010
	" " 食鳥検査センター	039-1166	八戸市根城六丁目22-22	0178-24-3762	24-3772
	青 森 県 養 鶏 協 会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8799	729-8799
	(一 社) 青 森 県 養 豚 協 会	030-0813	青森市松原3-8-5 メゾン高橋1F	017-729-4141	729-8609
	青 森 県 酪 農 協 会	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1 JAゆつき青森らくのう支所内	0175-64-3241	64-3244
	青 森 県 飲 用 牛 乳 協 会	036-8071	弘前市大久保西田364 萩原乳業株式会社内	0172-32-1451	32-8726
	青 森 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会	039-2664	青森市東大野2-1-15 全農青森県本部酪農課内	017-729-8650	762-1078
	(社) 青 森 県 配 合 飼 料 会 価 格 安 定 基 金 協 会	030-0813	青森市松原3-9-22 いしごおかハイツ2階	017-777-6543	775-5354
	青 森 県 牛 乳 普 及 協 会	030-0847	青森市東大野2-1-15 全農青森県本部酪農課内	017-729-8650	762-1078
(社) 日 本 短 角 種 登 録 協 会 部 青 森 県 支 部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073	
(社) 全 国 和 牛 登 録 協 会 部 青 森 県 支 部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073	
東 北 軽 種 馬 協 会	039-2501	上北郡七戸町荒熊内153	0176-60-8820	62-6918	
農 協 等	全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会 部 青 森 県 本 部	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8650	762-1078
	JA 全農あおもり畜産酪農部 畜産酪農課牛乳冷却処理所	039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
	青森県畜産農業協同組合連合会	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	ゆつき青森農業協同組合 らくのう支所	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1	0175-64-3241	64-3244
	青森県農業共済組合連合会	030-0802	青森市本町5-5-21	017-775-1161	775-1170
	青森県鶏卵販売農業協同組合	030-0943	青森市幸畑谷脇219-2	017-738-1241	738-7383
	青森県軽種馬生産農業協同組合	039-2501	上北郡七戸町荒熊内153	0176-60-8820	62-6918
	(社) 青い森農林振興公社	030-0801	青森市新町2-4-1 県共同ビル6階	017-773-3131	734-1738
	青森県食肉事業協同組合連合会	030-0113	青森市第二問屋町3-5-25 株式会社いしおか内	017-729-8078	050- 1197-8559
	青森県家畜商業協同組合	034-0001	十和田市三本木野崎40-433 三本木畜産農業協同組合内	0176-23-3581	23-5040
そ の 他	青 森 県 養 蜂 協 会	039-1504	三戸郡五戸町字兔内20 鳥谷部栄作方	0178-62-2383	
	(財) 青 森 県 学 校 給 食 会	030-0312	青森市横内神田7-2	017-738-1010	738-1051
	青 森 県 農 業 会 議	030-0802	青森市本町2-6-19 青森県土地改良会館4階	017-774-8580	774-8588

6) 畜産関係施設

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
家畜市場	青 森 県 家 畜 市 場 (青森県畜産農業協同組合連合会)	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	八 戸 産 地 家 畜 市 場 (八戸畜産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町垵渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
	三 本 木 産 地 家 畜 市 場 (三本木畜産農業協同組合)	034-0001	十和田市三本木野崎40-433	0176-23-3581	23-5040
	おいらせ農協産地家畜市場 (おいらせ農業協同組合)	039-2372	上北郡六戸町折茂上折茂94-1	0176-55-2029	55-3392
	八戸サラブレッド家畜市場 (県軽種馬生産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町垵渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
食肉センター	津 軽 食 肉 セ ン タ ー	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡84-1	0172-58-4652	58-4664
	三 沢 市 食 肉 処 理 セ ン タ ー	033-0113	三沢市三沢淋代平116-3101	0176-59-3567	59-2865
	(株)三戸食肉センター	039-0122	三戸郡三戸町斗内中堤9-1	0179-25-2211	25-2213
	十 和 田 食 肉 セ ン タ ー	034-0001	十和田市三本木野崎1	0176-23-7321	23-7324
	日本フードパッカー(株)青森工場	039-2206	上北郡おいらせ町松原2-132-1	0178-52-3181	52-6855
主な乳業工場	萩 原 乳 業 (株)	036-8071	弘前市大久保西田364	0172-32-1451	32-8726
	(財)新郷村ふるさと活性化公社	039-1801	三戸郡新郷村戸来雨池11-2	0178-78-2511	78-2552
	(有)斗南丘牧場	035-0021	むつ市田名部内田42-606	0175-28-2888	28-2889
	(財)十和田湖ふるさと活性化公社	034-0301	十和田市奥瀬堰道148-1	0176-72-3101	72-3106

7) 県内の特徴的な動き(平成23年度)

(1) 平成24年度全国和牛能力共進会に向けた取組

平成24年10月に長崎県で開催予定の全国和牛能力共進会は、全国から和牛関係者が集結する大きなイベントです。県では、本県の次世代の種雄牛や生産者の飼養技術をPRする絶好の機会と捉え、調教技術や和牛審査技術者の養成、超音波による肉質診断のほか、関係者で編成する指導チームによる出品候補者への技術指導などにより、上位入賞を目指しています。



超音波肉質診断



血液検査による栄養指導

(2) 獣医師確保対策の実施

県では、平成22～23年度事業として、獣医系大学を目指す学生の増加、獣医師への理解度向上を目的として、「あおり食産業を守る獣医師確保緊急対策事業」を実施しています。

獣医系大学生への修学金給付、高校への出前講座、獣医系大学生との交流、最新機器を活用した技術研修を実施するとともに、平成24年1月に「青森県獣医師職員確保プラン」を策定しました。



獣医系大学生への職務紹介



(3) 十和田市公共牧場再生協議会の活動

上北地域では、十和田市公共牧場再生協議会が組織され、地域の8牧場の機能分担や作業委託等による経営体質強化に向けて、平成23年度は家畜運搬車の導入による牧場間の家畜移動、低コスト草地更新技術試験の実施、肥料・資材の共同購入、シンポジウム開催等に取り組んでいます。



奥瀬牧場と放牧牛



牧場間の家畜運搬車

(4) キャトルセンター整備による肉用牛増頭の取組

三八地域では、五戸町営ブドロク放牧場を核とした地域一貫生産の推進による”あおり倉石牛”のブランド力の強化、生産拡大を図るため、畜産担い手育成総合整備事業を活用し、草地造成や周年飼養施設（キャトルセンター）等の整備に取り組んでいます。



ブドロク牧場の草地造成



周年預託施設

(5) 「深浦牛」「市浦牛」の地域銘柄化の取組

西北地域では、平成22年度から[深浦牛][市浦牛]の地域銘柄化に向けた取組を進めています。PR用の販売促進資材の製作や試食会の開催等により、牛肉の販売機会が拡大したほか、23年度からは宿泊施設等との新たな取引が始まり、地元住民や観光客への提供が始まっています。また、子牛の品質向上のための各種研修会や個別指導等にも取り組んでいます。



地域での販売促進活動



地域銘柄牛等を使った料理の提供

(6) 畜産物の放射性物質の検査の実施（平成24年2月末現在）

県では、福島第1原子力発電所事故を受け、県産農林水産物の放射性物質検査を行っています。畜産関係では、県内でと畜される県産牛について、平成23年8月17日からの抽出検査を経て、11月9日から県内でと畜されるすべての県産牛を対象に、県内4か所で検査をしています。牛乳については、県内2か所の集乳場所の原乳を概ね1週間に1回検査をしています。牧草については、県内4地域で1番～3番草までの検査を行いました。これらの検査の結果、いずれも、暫定規制値を超える放射性物質は検出されていません。



牛肉の放射性物質検査



検査用原乳の採取

8) 青森県基幹種雄牛

新種雄牛

優福栄

ゆうふくさかえ

黒14419(81.9)

生年月日：平成18年12月17日

産地：三戸郡田子町

繁殖者：青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良資源部



福栄

(鳥取・鳥取)
黒原2886
直検1.31
間検0.92 2.6

安福(岐阜)

(兵庫・美方)
黒原930
間検0.83 +4.1

安谷土井

(兵庫・美方)
ちずる
(兵庫・美方)

はるみ

(兵庫・美方)
黒原649705

菊照土井

(兵庫・美方)
てつや
(兵庫・美方)

丸優

(兵庫・美方)
黒原1003
直検1.21

菊安土井

(兵庫・美方)
すずよし
(兵庫・美方)

さわゆう

(青森・下北)
黒原933908

第2さわみく

(青森・下北)
黒1827582

金福

(兵庫・美方)
第2さわはた3
(青森・下北)

直接検定 1.07

現場検定(平均 n=23)

BMS 6.7 枝重 458kg

現場検定調査牛の肥育成績

区分	頭数	と畜月齢	枝肉重量	ロース芯	バラ厚	皮下脂肪	BMSNo.	上物率
去勢	17	28.3	469.9	53.9	7.6	1.9	6.3	88.2%
雌	6	29.5	424.8	62.5	7.8	2.2	7.8	100.0%
合計	23	28.6	458.1	56.1	7.7	2.0	6.7	91.3%
母の父 第1花園	11	28.4	448.1	59.5	7.6	1.8	7.1	100.0%



青森県内に多数保留されている「第1花園」の雌牛との交配を念頭に作出した3代兵庫系の種雄牛です。

現場検定では、BMSNo.の平均が6.7と本県歴代3位を記録し、上物率は91%でした。特に「第1花園」娘牛との交配ではBMSNo.7.1で、上物率100%と期待に応える成績を残しました。

測定値

(H23.11.29)

体高	149.0
体長	167.0
胸囲	212.0
胸深	78.0
尻長	62.0
かん幅	49.0
体重	670.0

現場検定調査牛(平成23年8月23日)

去勢(優福栄×第1花園×美津福) 475.5kg BMS8

第2花国

だい2はなくに



黒13847(82.9)

生年月日：平成14年8月18日

産地：青森県つがる市

繁殖者：青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良技術部

第1花国 (青森・つが)	北国7の8 (島根・大田)	第7糸桜 (島根・仁多)
黒12510	黒原1530	きたぐに7
直検1.36	直検1.30	(島根・大田)
間検1.08 2.7	間検0.94 2.7	花桜
	あおはな	(島根・飯石)
	(島根・能義)	第2あおひろ
	黒1884989	(島根・能義)
	北国7の8	第7糸桜
	(島根・大田)	(島根・仁多)
	黒原1530	きたぐに7
	直検1.30	(島根・大田)
	間検0.94 2.7	花桜
第5はなくに	あおはな	(島根・飯石)
(青森・つが)	(島根・能義)	第2あおひろ
黒2025076	黒1884989	(島根・能義)

本県を代表する名牛「第1花国」を、その全きょうだいの妹「第5はなくに」に交配した近交係数の高い種雄牛です。

現場検定では、頭数が少ない中で、3頭がBMS「11」を記録し、脂肪交雑の成績は本県歴代1位。

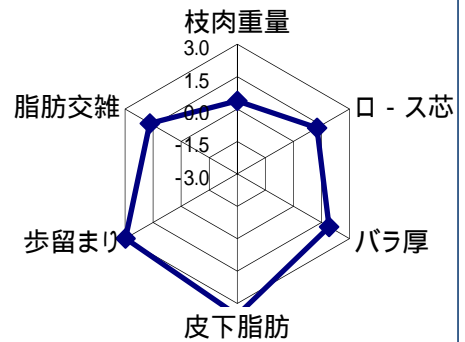
平成23年から現場の肥育成績が順次判明し、脂肪交雑の育種価は若干下げましたが、上物率は高く、心配された枝肉重量の育種価は上げました。

測定値 (H22.12.21)	
体高	144.0
体長	171.4
胸囲	208.0
胸深	78.0
尻長	60.0
かん幅	52.0
体重	700.0



平成19年度第2回あおもり和牛枝肉研究会 優秀賞
(現場検定調査牛 平成19年9月29日)
雌(第2花国×美津福×北国7の8) 382kg BMS11

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	33.408	180	0.946
ロース芯	10.188	48	0.940
バラ厚	1.214	19	0.934
皮下脂肪	-1.097	9	0.946
推定歩留	2.787	5	0.949
脂肪交雑	1.997	13	0.958



平成23年11月第33回育種価評価より
順位は1,266頭中の順位

直接検定 1.17
現場検定(平均 n=14)
BMS 7.1 枝重 395kg

第1花国

だい1はなくに



黒12510(82.8)

生年月日：平成5年5月28日

産地：青森県つがる市

繁殖者：青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良技術部

北国7の8 (島根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7	第7糸桜 (島根・仁多) 黒原85 直検1.38 間検1.02 +8.4	第14茂 (岡山・苫田) 第9いとまくら (島根・仁多) 晴美 (鳥取・八頭) もりなか (島根・大田)
あおはな (島根・能義) 黒1884989	花桜 (島根・飯石) 黒原1637 直検1.21 間検0.87 2.6	糸花 (島根・飯石) 第5いとしげ (島根・飯石)
	第2あおひろ (島根・能義) 黒原81009	糸光 (島根・飯石) あおひろ (島根・能義)

青森県を代表する本牛は、今や糸桜系を代表する質量兼備の種雄牛です。本牛の産肉能力の高さは、全国規模の枝肉共例会での数々の名誉賞獲得により証明されています。

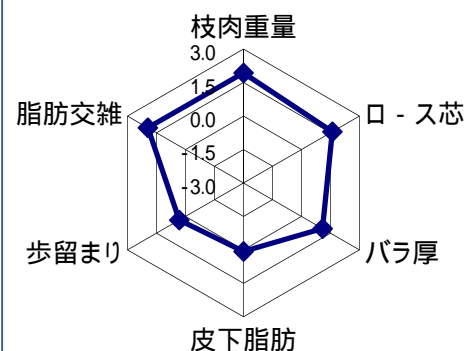
近年は2代祖としても実力を発揮しており、青森県家畜市場においても、雌子牛を中心に高く評価されています。

測定値 (H19.4.18)	
体高	153.5
体長	188.6
胸囲	221.0
胸深	84.5
尻長	62.5
かん幅	52.5
体重	826.0



第5回全農枝肉共励会名誉賞(平成15年7月11日)
去勢(第1花国×安福165の9×恒徳) 506kg BMS12

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	80.536	14	0.995
ロース芯	11.217	27	0.994
バラ厚	0.936	71	0.994
皮下脂肪	-0.281	525	0.995
推定歩留	1.371	243	0.995
脂肪交雑	2.115	6	0.995



平成23年11月第33回育種価評価より
順位は1,266頭中の順位

直接検定	1.36	
間接検定	1.03	2.7
H8	43	72.8

照神12

てるかみ12



第21回東北牛匠会枝肉共進会名誉賞
雌(照神12×第1花国×北国7の8)
434.5kg BMS12

黒12548(83.0)
生年月日:平成6年3月21日
産地:兵庫県美方郡美方町
繁殖者:毛戸 照幸

谷福土井 (兵庫・美方) 黒原1606 直検1.14 間検0.80 3.2	安谷土井 (兵庫・美方) きくつる (兵庫・美方)	安美土井 いつひめ 菊美土井 しょうみく3
みゆき (兵庫・美方) 黒原312016	安美土井 (兵庫・美方) みつふく (兵庫・美方)	田安土井 ふくむすめ 菊美土井 ふくよ

推定育種価	
枝肉重量	-23.291
ロース芯	3.510
脂肪交雑	1.504

測定値 登録審査時 (17.0ヶ月)	
体高	130.0
体重	462.0

間接検定		
0.98	2.5	
H09	45	73.1

国栄97

くにさかえ97



第9回全農肉牛枝肉共励会 優秀賞
去勢(国栄97×安平×隆桜)
561kg BMS12

黒13122(83.0)
生年月日:平成9年10月30日
産地:青森県上北郡横浜町
繁殖者:秋田 藤一

北国7の8 (島根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7	第7糸桜 (島根・仁多) きたぐに7 (島根・大田)	第14茂 第9いとざくら 晴美 もりなか
えいこ (青森・下北) 黒1952223	丸優 (兵庫・美方) 第9みじえい (青森・三戸)	菊安土井 すずよし 安美金 ふじえい

推定育種価	
枝肉重量	16.724
ロース芯	9.198
脂肪交雑	1.644

測定値 (H19.4.18)	
体高	147.8
体重	682.0

間接検定		
1.03	2.8	
H12	43	72.9



冬の寒立馬（東通村）

編集・発行

青森県農林水産部畜産課